通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
	1.患者基本オーダー				
1		1	医事システムで保有する患者の基本属性情報(患者ID、患者氏名、力ナ氏名、性別、生年月日、保険情報、保険有効期限、住所情報、電話番号、携帯電話番号、緊急連絡先、身長、体重、保護者名を最低限の表示項目とする)を表示すること		
2		2	カルテを開かずに、患者基本情報画面を開くことが可能なこと		
3		3	患者基本情報編集画面を、カルテ画面から独立して別ウィンドウで表示可能なこと		
4		4	別ウィンドウを表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
5		5	看護情報、基本情報、障害情報、感染情報、薬剤禁忌情報、一般アレルギー、職種コメント、家族歴 情報等を登録する機能を有すること		
6		6	各項目はインデックス表示され、該当項目を選択することにより編集画面の切り替えが可能なこと		
7		7	編集画面を切り替えることなく、未登録の項目が把握可能なこと		
8		8	身長や体重など、前回計測時から変更がない場合、その旨を登録可能なこと		
9		9	精神科用患者基本情報として、保護者/同意者(複数)、緊急連絡先(複数)、関係機関(複数)、紹介者/紹介機関(複数)、その他患者情報、フリーコメント等が登録可能なこと。登録した内		
10		10	機密保護のため参照可能な機能、登録可能な機能を職制に応じて制限可能な機能を有すること		
11		11	患者基本画面では、以下の内容を表示および入力、修正が可能なこと		
12		12	・感染症と検査日		
13		13	・禁忌(薬剤、食物)		
14		14	・身長、体重(推移が表示されること)		
15		15	・入力された身長、体重から体表面積、標準体重、BMIが自動計算されること		
16		16	・紹介患者であることがカルテ画面にて認識可能なこと		
17		17	・職種ごとのコメントが入力可能なこと		
18		18	・患者固有の情報について複数設定が可能なこと。また、設定した内容がカルテ画面にて認識可能なこと		
19		19	患者確認チェック機能を有していること		
20		20	患者確認チェック項目は、医療機関ごとで自由に作成可能なこと		
21		21	患者確認チェック項目は、最大99項目作成可能なこと		
22		22	オーダー側で入力した家族歴イメージは、看護支援機能と共有可能なこと		
23		23	各種ワクチンおよび接種日の登録が可能なこと		
24		24	患者基本情報の項目ごとに更新履歴を参照可能なこと		
	2.外来基本オーダー		医師(診察室)別予約および予約外患者一覧を識別表示可能なこと		
25		1	患者の呼び出し状況を未来院、診察待ち、診察終了、診察一時終了別に識別表示可能なこと		
26		2	予約外患者を予約患者一覧へ、容易な操作で割込み入力可能なこと		
27		3	以下の内容を表示可能なこと		
28		4	- 予約時間		
29		5	・当日検体検査進捗情報		
30		6	· 当日画像 · 生理検査進捗情報		
31		7	- 受付番号		
32		8	・受付時刻		
33		9	・患者氏名、年齢、性別		
34		10	- 1272 H. ACKE:		
35		11	・患者フリーコメント		
36		12	・患者サマリー情報の有無		
37		13	·患者ID		
38		14	・ 併科受診情報		
39		15	<u> </u>		

通UNo	機能	No	機能詳細 ・外来患者呼び出し状況	可否	理由
40		16			
41		17	・紹介情報		
42		18	・各オーダー進捗情報		
43		19	予約患者と予約外患者を同一画面に表示することが、操作者の指示で可能なこと		
44		20	患者IDおよび50音検索が可能なこと		
45		21	同姓同名の患者は、識別表示可能なこと		
46		22	当日、再診患者の保留機能を有し、識別表示可能なこと		
47		23	患者選択によりオーダー画面に展開可能なこと。患者が入室しない場合は、診察中断が可能なこと		
48		24	診察終了患者は、非表示と可能なこと。また、必要に応じて再表示可能なこと		
49		25	診察終了ごとに最新表示可能なこと		
50		26	代行入力機能(医師以外がオーダーを入力可能とすること。ただし、利用者認証を確定できる機能)を 有すること		
51		27	有すること 担当医師への連絡のために、診療予約時に定型コメント、フリーコメント入力が可能なこと		
52		28	診療予約区分の表示が可能なこと		
53		29	代行入力した場合は、未承認として登録され、未承認の患者を表示可能なこと。医師が承認処理を行 からてとによりながいたと、とのが承認処理を行		
54		30	なうことにより承認となる機能を有すること 外来患者一覧の表示項目は個人ごとに並び順を変更可能なこと		
55		31	患者一覧画面から患者フリーコメントを編集可能なこと		
56		32	誤って受付した場合でも患者一覧から削除可能なこと		
	3.入院基本オーダー			<u> </u>	
57		1	空床状況が病棟別、および病室別に照会可能なこと		
58		2	カレンダー形式でベットの使用状況を確認でき、入院操作が可能なこと		
59		3	入院予定、入院決定、入院確認、転棟予定、転科、転室、転ベット、外泊、外出、退院予定、退院 確認、医師/看護師の登録、履歴確認が可能なこと		
60		4	外出、外泊での欠食、転棟による配膳先変更、退院により食止めとなる連携情報等、登録された情報は、食事オーダーに自動的に反映されること		
61		5	外出、外泊の初期表示に関して、設定により手入力が初期表示を選択可能なこと		
62		6	入院予定オーダーは、以下の機能を有すること		
63		7	・依頼科、医師、入院予定日、目的、期間、主治医、担当医、看護師、病棟、病室の登録が可能なこと。		
64		8	・運用により主治医、担当医、看護師、病棟、病室の入力は省略可能なこと		
65		9	・必要に応じて入院病名を登録可能なこと		
66		10	・入院時の食事が選択可能なこと		
67		11	・入院時、検査日や手術日が確定している場合、必要に応じて食事のスケジュールを立てることが可能 なこと		
68		12	・登録した情報は、入院予定患者一覧に反映されること		
69		13	・入院患者一覧上から、簡易な患者状況をフリー入力(最大全角20文字)可能なこと		
70		14	入院予定の段階で文書作成オーダーと連動して必要な文書の作成が可能なこと		
71		15	入院決定オーダーは、以下の機能を有すること。		
72		16	・入院予定で登録された内容を引き継ぎ、入力の省力化を図ること		
73		17	・佐頼科、医師、入院決定日、時間、目的、期間、主治医、病棟、病室、ベット、担当医、看護師の 登録が可能なこと		
74		18	・運用により担当医、看護師は省略可能なこと。		
75		19	・外来にて入院予定時に登録済みの情報は入院時(入院決定時 ・確認時等)に情報を引き継げること。		
76		20	・必要に応じて入院病名を登録可能なこと		
77		21	・入院時の食事を選択可能なこと		
78		22	・入院予定で登録済みの食事の内容は情報を引き継ぎ可能なこと		
79		23	・登録した情報は入院決定患者一覧に反映されること		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
80		24	・精神科での入院の場合、入院形態、告知医など管理可能なこと		
81		25	・入院決定時、薬剤管理指導記録の医師の同意が取れること		
82		26	・紹介情報を参照可能なこと		
83		27	・緊急入院種別判定が可能なこと		
84		28	・入院決定時に退院決定が可能なこと		
85		29	・入院中患者に対し次回分の入院決定が可能なこと		
86		30	・入院決定の段階で文書作成オーダーと連動して必要な文書の作成が可能なこと		
87		31	入院確認オーダーは以下の機能を有すること。		
88		32	・入院予定、入院決定で登録された内容を引き継ぎ、入力の省力化が可能なこと		
89		33	・依頼科、医師、入院日、時間、主治医、病棟、病室、ベット、担当医、看護師、室料扱いの登録が		
90		34	可能なこと。 ・担当医、看護師、室料扱いは省略可能なこと		
91		35	・入院予定、入院決定が登録済みの場合は情報をそのまま引き継げること		
92		36	・登録した情報は入院患者一覧に反映されること		
93		37	・精神科での入院の場合、入院形態、告知医などの管理可能なこと		
94		38	・入院決定時、薬剤管理指導記録の医師の同意が取れること		
95		39	・紹介情報を参照可能なこと		
96		40	・緊急入院種別判定が可能なこと		
97		41	入院確認の段階で文書作成オーダーと連動して必要な文書の作成が可能なこと		
98		42	入院病名入力と病名オーダーを、連動可能なこと		
99		43	転科予定オーダー(転出側病棟にて登録)は、以下の機能を有すること		
100		44	・転棟日時、診療科、病棟、病室、ベットの入力が可能なこと		
101		45	・登録した情報は、転入側病棟の転入予定患者一覧に反映されること		
102		46	・食事オーダーには、配膳先の変更情報として伝達されること		
103		47	・精神科での入院の場合、入院形態、告知医などの管理可能なこと		
104		48	転入確認オーダー(転入側病棟の確認情報)は以下の機能を有すること		
105		49	・転棟日時、診療科、病棟、病室、ベットの入力が可能なこと		
106		50	・転棟予定で登録された情報はそのまま引き継ぎ、省入力化を図ること		
107		51	・転出側の病棟で未実施の予定オーダーや継続オーダーが存在するとき、転科を伴わない場合には自動的に転入側の病棟のオーダーに変更されること		
108		52	動的に私入例の病体のパーテーに変更されること ・登録した転入情報により、転入予定患者一覧から該当患者が消去されること		
109		53	・精神科での入院の場合、入院形態、告知医など管理可能なこと		
110		54	転科、転室、転ベット登録は、以下の機能を有すること		
111		55	・転棟日時、診療科、病棟、病室、ベット、室料扱いの入力が可能なこと。ただし、室料扱いは省略可能なこと		
112		56	服みこと ・登録された内容(転科、転室、転ペッド)は即時実行され、入院患者一覧に反映されること		
113		57	・食事オーダーには、配膳先の変更情報として伝達されること		
114		58	・精神科での入院の場合、入院形態、告知医などの管理可能なこと		
115		59	一覧画面でドラッグ&ドロップなどの簡易な操作により、転室、転ベットが可能であること		
116		60	外泊、外出オーダーは、以下の機能を有すること		
117		61	・開始日時、食事中止日、食事中止区分(朝食、昼食、夕食)、終了日時、食事再開日、食事 再開区分(朝食、昼食、夕食)、理由の入力が可能なこと		
118		62	・外出、外泊を登録した際、食事オーダーに欠食情報として伝達されるとともに、医事システムにも反映 されること		
119		63	医師/看護師登録は以下の機能を有すること		
120		64	・入力項目は主治医、担当医、看護師とする		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
121		65	・主治医、担当医、看護師は複数登録可能なこと		
122		66	退院決定オーダーは以下の機能を有すること		
123		67	・退院日時、理由、コメント等を入力可能なごと		
124		68	・紹介情報を参照可能なこと		
125		69	退院確認オーダーは以下の機能を有すること		
126		70	・退院決定で登録された情報を引き継ぎ、入力の省力化を図ること		
127		71	・退院日時、理由、コメントなどを入力可能なこと		
128		72	・退院確認日以降の食事オーダーは食止め情報として登録され、医事システムなどの部門システムにも		
129		73	反映されること - 紹介情報の参照が可能なこと		
130		74	・退院時に未来日の不要なオーダーを一括削除可能なこと		
131		75	・患者に指示された入院基本オーダーの履歴状況を一覧形式で表示可能なこと		
132		76	患者IDおよび50音検索が可能なこと(完全、前方一部データでの検索が可能なこと)		
133		77	同姓同名の患者は、識別表示可能なこと		
134		78	薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなど職制に応じた担当者を複数登録し管理可能なこと		
135		79	担当している患者を、一覧表形式にて絞込みが可能なこと		
136		80	カルテを開いたときに、当該患者の担当者が表示可能なこと		
137		81	保護室を定床に含めて管理するか、定床から除外して管理するかが選択可能なこと		
138		82	退院登録時にそれ以降のオーダーがある場合はキャンセルしてよいかアラートを出すことが可能なこと		
139		83	退院登録は容易に解除して入院に復旧可能なこと		
140		84	過去の入院履歴を参照可能なこと		
141		85	過去入院時の担当者の情報を参照可能なこと		
	4.ベッドコントロール機能				
142	ベッドコントロール	1	1日のうち、午前/午後における空きベット状況がマップ形式確認可能なこと		
143		2	ベット使用状況が視覚的に判別可能であること		
144		3	使用するペッドの変更がドラッグ&ドロップで簡易に行えること		
145		4	日ごとにベッドの稼働率が確認可能であること		
146		5	ベッドコントロールにおける稼働率などのシミュレーションが可能なこと		
147		6	ベッドを使用している患者情報が確認可能であること		
148		7	ベッドを使用している患者に対する他の入院基本操作が可能であること		
149		8	ベッドの変更に対する取消操作(元に戻す)が可能であること		
150	ベッドコントロール退院調整	1	入院患者が現在どの病床に何日入院しているか確認可能なこと		
151		2	入院患者に対する出来高入院料が病床区分ごとで確認可能なこと		
152	5.食事オーダー	1	オーダー画面をカルテ画面から独立して別ウィンドウで表示可能なこと		
152		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示		
153		3	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 入院時の食事情報、転科、転室情報、外泊・外出に伴う欠食情報および退院による食止め情報は入		
155		4	院基本オーダーから自動的に伝達されること 給食システムへの情報伝達を可能とすること		
156		5	以下の内容を入力可能なこと。マスターまたは他のシステムで入力済みの項目については、選択入力また		
157		6	は自動表示可能なこと・食種		
157		7	·開始日、終了日		
159		8	・時間 (朝、昼、夕)		
			·食事区分(朝 ·昼 ·夕)		
160		9			

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
161		10	・主食の食品・量		
162		11	·禁止食品、代替食品		
163		12	・特別食の加算・非加算		
164		13	・エネルギー指示(熱量制限、低蛋白食)		
165		14	・食止めおよび理由		
166		15	・定型コメントおよびフリーコメント		
167		16	食事時間帯指定によるオーダ登録が可能なこと		
168		17	1日の食事(朝、昼、夕)に複数の食種が混在したオーダー登録が可能なこと		
169		18	オーダー食の栄養量表示が可能なこと		
170		19	食種一覧表からの食種選択入力が可能なこと		
171		20	食種一覧表には食種別の栄養量の表示が可能なこと		
172		21	食事開始日、食事区分(朝・昼・夕食)の入力画面は、締切時間を考慮した表示が可能なこと		
173		22	食事終了日は、指定しない限り登録されているオーダー食を継続すること		
174		23	登録されている食事オーダーはカレンダー形式(以下、食事カレンダー)で確認可能なこと		
175		24	食事カレンダーでは以下の情報が確認可能であり、操作が可能なこと		
176		25	・身長、体重、BMIの確認が可能なこと。また患者基本情報と連動していること		
177		26	・食物禁忌の情報と、食物禁忌のコメントが確認可能なこと		
178		27	・栄養士のコメントが確認可能なこと		
179		28	・選択した日付(朝・昼・夕)の食事オーダーの詳細情報が確認可能なこと		
180		29	・食事オーダーの新規登録画面の展開が可能なこと		
181		30	・過去の食事オーダーの流用(コピー)が可能なこと		
182		31	・食事オーダーの修正画面が展開可能なこと		
183		32	・食事オーダーの削除が可能なこと		
184		33	・部分欠食指示が、編集画面を開かずに指示が可能なこと		
185		34	・未確定の食事オーダーを、一括で取り消し可能なこと		
186		35	・食事箋の発行、再発行が可能なこと		
187		36	食事カレンダーを表示しながら、食事オーダーの登録が可能なこと		
188		37	新規に食事オーダーを登録する際、最後に登録された食事オーダーの特別指示、禁止事項、塩分指示 などの内容が引き継ぎ可能なこと		
189		38	るという音が)に発に 当時をした 食種をグループ別に分類管理でき、選択可能なこと		
190		39	選択した食種に応じた、詳細指示が可能なこと		
191		40	食事締め切り時間のチェックを自動的に行い、登録可能な食事開始日/区分を、既定値表示することが可能なこと		
192		41	食事を継続する場合は、終了日および食事終了区分は入力を省略可能なこと		
193		42	特別食を指示する場合は、必要に応じて特別食加算の対象となる病名を入力可能なこと		
194		43	特別指示として栄養管理部門に伝えたいコメント情報や、食物禁忌情報を入力可能なごと。食物禁忌情報は患者基本オーダーで登録済み項目が、自動的に選択済みになること		
195		44	(新後食、潰瘍食等は、パターン食として食事の変動(食上がD)に従ったセットを、作成可能なこと		
196		45	食事と患者食物アレルギーとのチェック機能を有すること		
197		46	1食単位で医事会計システムへ送信が可能なこと		
198		47	特定薬剤服用時には該当する食物禁忌チェックが可能なこと		
199		48	食事箋発行のログを持っていること		
200		49	食事箋発行ログから、食事箋の再出力が可能なこと		
201		50	食事箋発行ログは、自動削除機能があること。削除のタイミングは、設定により指定可能なこと		

10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10.16 10						
10.0 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1						
202 13 13 13 13 13 13 13 1	通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
202						
202				カルテ画面を参照しながら、食事オーダーの入力が可能とすること		
20-04 33 オーチー型の世界できる他は、オーター登録を登録を含むまでしたの実可様かと	202		51			
1	203		52	イムで参照可能なこと		
1	204		53	オーターツリーに表示する名前は、オーター登録者か最終更新者を設定により変更可能なごと		
100 1		6.処方オーダー		オーダー画面(け場/作者が任音にカルテ画面から切り離して関ウン、ドウで表示可能かで)		I
200	205		1			
4	206		2	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
200 1	207		3	適用保険選択によるオーダーが可能なこと		
107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 107 10	208		4	薬袋印字機、自動調剤分包機に、処方オーダーで入力されたデータが伝達可能なこと		
210 6 案例核解的、リアルタイはアンカアが非常解析のすること、できた。 201 7 XFのが落を入力が可能など、マスターまは自動表示可能なこと 202 21 7 XFのが落を入力が可能なこと、マスターまは自動表示可能なこと 21 21 21 21 3 表面 20 21 21 3 20 21 3 20 21 10 20 20 21 11 19を発展・20の 規定 21 12 20 21 12 20 21 21 21 20 22 21 21 20 22 22 21 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22	209		5			
211 7 以下の好音を入力が同能なたと、マスターまたは自動製売可能なたと 212 8 ・ 選問 213 9 円間 214 10 ・ 円間 (内臓、外用、軽艇、同数、発情、粉除、混合等) 215 11 ・ 1 少与日間 (小型 人工	210		6	薬剤検索時、リアルタイムで入力文字から候補薬剤を表示すること。医師が多く使用する薬剤は文字サ		
213 9 用量 214 10 用点 (内臓、外用、朝腿、回数、特別、粉砕、混合等) 215 11 ・投与日数 216 12 ・一色化表示 217 13 ・投入日本 218 14 ・業利の一般名による・ナーノが同胞など 219 15 ・分外未要表がして、入原地や処方を使外メーターとして進声する場合、、実利への変更が振場による・ナーノが同胞など - 提供を登録されている薬剤を含むすーターの進用時に、現在財産されている薬剤への変更が振場下げる。 ・ 投資・管理が、	211		7			
213 9			8	・薬剤		
11				·用量		
11				・用法(内服、外用、頓服、回数、時間、粉砕、混合等)		
11 12 13 14 12 14 14 15 15 15 15 16 16 16 16						
12	215		11			
14 ※素剤の一般を広よるオーターが可能なこと	216		12			
15	217		13	・後発品への変更指示		
15 9- 所可認なこと 16 3- 所可認なこと 16 3- 所可認なこと 16 3- 所列認なこと 16 3- 所列認なこと 17 45 のかまます。 4- 本をで登録されている薬剤を含むが実地方をオーターする際、一般をもしくは商品をのどちらで登録 17 45 のかままれで可能なこと 49 47 49 のが表現の映象が可能なこと 49 47 49 のが表現の映象が可能なこと 18 82 49 49 49 49 49 49 49 4	218		14	・薬剤の一般名によるオーダーが可能なこと		
220 16 ・接用用限が切れた薬剤を含むオーターの流用的に、現在採用されている薬剤への変更が簡易に行えること 221 17 一般名で登録されている薬剤や含む約束処方をオーターする際、一般名もしくは務品名のどちらて登録 きなが当まで可能なこと 特別期限切れの薬剤が含まれる場合はがセージを表示し再登録を使すこと から可能なこと 18 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	219		15			
一般名で登録されている業務を含む的現代のまた。一般名もしは商品名のどちで登録をするか同様の開放と、有効開限可加なと、有効開限可加なと、有効用限力の業別が含まれる場合はメッセージを表示し再登録を使すとかっ可能なこと	220		16	・採用期限が切れた薬剤を含むオーダーの流用時に、現在採用されている薬剤への変更が簡易に行え		
222 18 薬効から薬剤の検索が可能なこと 19 ログイン者ごとの頻用展一覧が表示されること、表示される薬剤の使用量を必要に応じて変更可能なこと 22 224 20 薬剤指定によるDIを表示可能なこと 22 過去の指示内容没用時は、オーダーの履歴ウィンドウから今回診療オーダーウィンドウへ直接、Do入力が 可能なこと 22 19 19 19 19 19 19 19	221		17	一般名で登録されている薬剤を含む約束処方をオーダーする際、一般名もしくは商品名のどちらで登録 をするか選択可能なこと。有効期限切れの薬剤が含まれる場合はメッセージを表示し再登録を促すこと		
224 20	222		18			
224 20	223		19	□ ログイン者ごとの頻用薬一覧が表示されること。表示される薬剤の使用量を必要に応じて変更可能なこと		
過去の指示内容流用時は、オーダーの履歴ウィンドウから一回診療オーダーウインドウへ直接、Do入力が 可能なこと				薬剤指定によるDIを表示可能なこと		
1月底なと 22 22 23 23 29 25 24 複数のオーダーを1つにまとめてオーダー可能なこと 23 29 25 25 25 26 26 27 27 27 28 29 25 26 26 27 27 27 28 27 28 29 20 27 28 29 20 27 28 29 20 27 28 29 20 20 20 20 20 20 20				過去の指示内容流用時は、オーダーの履歴ウィンドウから今回診療オーダーウィンドウへ直接、Do入力が		
226 227 23						
228 24 複数のオーダーを1つにまとめてオーダー可能なこと 25 複数のオーダーを1つにまとめてオーダー可能なこと 25 必要に応じて処方箋選択コメント、処方箋コメント(処方箋に付加するコメント)、薬剤コメント(薬剤 単位に付加するコメント)、用法コメント(用法に付加するコメント)がRPごとに登録可能なこと 25 投与日数は、期間指定を指定してオーダー可能なこと 27 投与日数は手約オーダーと連動し、次回診察予約までの日数で自動登録可能なこと 231 27 投与日数を期間指定および、次回診察予約日までの期間で登録した場合、コメントに投与期間を表示すること 232 28 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと 233 29 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと 234 30 以下のチェック機能を有すること 235 31 ・薬剤の養告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック ・	226			れること		
229 25	227		23			
25 単位に付加するコメント)、用法コメント(用法に付加するコメント)がRPごとに登録可能なこと 投与日数は、期間指定を指定してオーダー可能なこと 231 27 232 投与日数は予約オーダーと連動し、次回診察予約までの日数で自動登録可能なこと 233 28 233 29 234 30 235 31 236 32 237 33 238 34 34 ・患者アレルギーチェック、粉砕化可否チェック 236 32 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 238 34 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック 35 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック 36 ・他の選集で入力中の処方で一分もチェックが対象とすること	228		24			
250 26	229		25	単位に付加するコメント)、用法コメント(用法に付加するコメント)がRPごとに登録可能なこと		
231 27 27 28 投与日数を期間指定および、次回診察予約日までの期間で登録した場合、コメントに投与期間を表示すること 29 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと 234 30 以下のチェック機能を有すること 35 31 ・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック 236 32 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の選集で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の選集で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の選集で入力中の処方データもチェックが象とすること 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127 127	230		26	投与日数は、期間指定を指定してオーダー可能なこと		
232 28 すること 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと 234 30 以下のチェック機能を有すること 35 ・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック 236 32 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック 33 ・患者アレルギーチェック、好産婦禁忌チェック 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること ・他の学生で入力中の処方データもチェックが象とすること 28 29 29 20 20 20 20 20 20	231		27	投与日数は予約オーダーと連動し、次回診察予約までの日数で自動登録可能なこと		
233 29 投与期間のコメントは、任意で削除可能なこと 234 30 以下のチェック機能を有すること 235 31 ・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック 236 32 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック 237 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 238 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の選末で入力中の処方データもチェック対象とすること	232		28			
234 30 235 31 ・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック 236 32 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック 237 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 238 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の選集する人力中の処方データもチェック対象とすること	233		29			
235 31 ・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック 236 32 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック 237 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 238 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の選集するカロ中の処方データもチェック対象とすること	234		30	以下のチェック機能を有すること		
236 32 ・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック 237 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 238 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の選集で入力中の処方データもチェック対象とすること				・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック		
237 33 ・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック 34 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の学素で 入力中の処方データもチェック対象とすること				・用法と使用量の適合チェック、粉砕化可否チェック		
237 33 ・他科を含めた服用期間の重なる薬剤との重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック ・他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること ・他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること				・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック		
2.38 34						
220 25 10の細かくハカエッペリカーテリカエアカ外のことがにと						
	239		35			
240 36 ·劇薬、麻薬、特殊薬剤警告チェック	240		36			
241 37 ・注射薬剤との禁忌チェック	241		37	・注射薬剤との禁忌チェック		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
242		20	・他の端末で入力中の注射データもチェック対象とすること		
242		38	・院外不可薬剤チェック、採用薬期限切れチェック		
243		39	・同月内の院内/院外処方混在チェック		
244		40	・分割チェック、成分重複チェック、年齢別投与制限チェック、妊婦授乳婦チェック		
245		41	・禁忌病名チェック、適応病名チェック		
246		42	警告に対して、コメント付加等の一定の条件によるオーダーが可能なこと。強制入力によるオーダーはコメ		
247		43	ント、または識別表示が可能なこと		
248		44	定期、継続、臨時、先渡、退院、緊急の処方区分を有すること		
249		45	オーダーの進捗状況を加ンダー形式等(2週間分以上)で表示し以下の機能を有すること		
250		46	・患者を条件によって、限定して表示可能なこと		
251		47	・日付を選択することにより、該当する詳細情報が参照可能なこと		
252		48	・表示されたオーダーに対して処方箋の発行、仮発行、再発行が行えること		
253		49	・表示されたオーダーに対して削除指示、未実施指示が行えること		
254		50	オーダー修正時、修正前と修正後の内容を同一画面で確認可能なこと。また、修正前と修正後の項目は文字色が変わり一目で把握可能なこと		
255		51	入力した時間帯により院内/院外区分の既定値を設定可能なこと		
256		52	患者ごとに院内/院外区分の既定値を設定可能なこと		
257		53	院外処方オーダーに伴う院外処方箋を出力可能なこと		
258		54	麻薬処方箋を出力可能なこと		
259		55	適用保険の保険者番号等を院外処方箋に印字可能なこと		
260		56	院外処方箋に2次元コードを印字可能なこと		
261		57	病棟で至急、臨時オーダーに伴う処方箋の発行が可能なこと		
262		58	処方区分(定時・臨時・退院)により、異なったタイミングで薬剤部門へ情報送信し、必要に応じて 処方箋が出力可能なこと		
263		59	処方履歴として以下の内容の表示が可能なこと		
264		60	・日付、時間(オーダー日)		
265		61	・診療科		
266		62	· 入外区分		
267		63	・依頼医師		
268		64	・オーダー種別		
269		65	・オーダー進捗状況(実施、未実施)		
270		66	・全科/自科の切替表示が可能なこと		
271		67	・処方日指定で、処方内容の表示が可能なこと		
271		68	DI情報を、マスターに取り込めること		
			定期処方は、担当医であるなら他科でも可能とすること		
273		69 70	麻薬、劇薬は識別表示可能なこと		
274		70	錠剤一包化、散薬一包化の指示(ボタン)、不均等投与機能を有すること		
275		71	医師への督促コメント機能を有すること		
276		72	薬剤部門でも、医師と同じ画面で照会可能なこと		
277		73	院外処方専用採用薬について、院内処方押下時にエラー表示が可能なこと		
278		74	脚のアメンフライカボイカ楽に ブル・し、 がいりかと ガイド・ログにエノー 表示が りまいなこと 処方箋の出力について出力先を以下の条件で切り替えることが可能なこと		
279		75			
280		76	・時間帯により自動的に時間内 ・時間外を判断し出力先を変更		
281		77	・手動により時間内・時間外を切替え出力先を変更		
282		78	・院内・院外処方箋の出力(再発行)、プリンター等の不具合時の対応として再発行が可能である こと		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
283		79	入院処方箋 (注射含む) の出力は定時と臨時で別プリンター (注射も別) とし、定時薬の取り出しが		
284		80	ALL、病棟別、ID番号等で可能なこと 処方箋に患者基本情報のほか、処方医、診療科名、病室番号等が出力可能なこと		
285		81	院外、院内、麻薬の各処方箋では、一回量と一日量の併記が可能なこと		
286		82	薬剤選択時、薬剤部門からの注意コメントが表示可能なこと		
287		83	医師ごとの使用頻度に応じて頻用薬リストが自動的に作成され、そのリストからオーダーが容易に可能な		
288		84	こと 一度のオーダーで麻薬処方と通常の処方が同時に行えること		
289		85	外来処方オーダー時、曜日、時間帯を判断し、院内処方/院外処方の初期値を自動で切り替えること		
290		86	が可能なこと。過去オーダーの流用時やセットからオーダー登録時にも同様の切替えが可能なこと 適応病名、禁忌病名との薬剤チェックが可能なこと		
291		87	適応病名チェックは処方オーダー登録時、処方オーダー流用時にチェックがかかること		
292		88	適応病名チェックがかかった処方薬剤に対し適応病名の一覧を表示し、一覧より病名の登録まで行える		
293		89	こと 適応病名チェックに複数の薬剤がかかった場合でも、薬剤ごとに適応病名の登録が行えること		
294		90	適応病名一覧画面では、適応病名を登録する必要のある薬剤数が、常に表示されていること		
295		91	適応病名の一覧では、病名の漢字名称もしくはカナ名称、キーワードの部分一致もしくは前方一致で病		
296		92	名の絞り込みが可能なこと 登録する病名を、主病名として登録可能なこと		
297		93	登録する病名に疑いサインの付加が可能なこと		
298		94	体重、対表面積、年齢別薬剤規定値計算が可能なこと		
299		95	疑義照会等で変更のあった場合は、再送信可能なこと		
300		96	会計終了後の追加処方にも対応することが可能なこと		
301		97	追加の場合、追加分のみの出力が可能なこと		
302		98	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
303		99	オーダーを中止、削除、修正をした場合、元のオーダーに取消し線が引かれること		
304		100	カルテツリー上から任意で指定した複数の薬剤を一括削除可能なこと		
305		101	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
306		102	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の処方オーダーの内容がJアルタ イムで参照可能なこと		
307		103	特定の科 医師のみオーダ入力可能が薬剤を設定可能がこと。ただ、任音に対象患者を登録すること		
308		104	麻薬がオーダーされた場合に患者パネルに○麻マークを赤文字で表示可能なこと		
309		105	Rpごとに服用開始日、服用(投与)間隔を指定可能なこと		
310		106	用法の開始時間と服用開始時間に差異がある場合、エラーもしくは警告メッセージを表示すること		
311		107	投与間隔日数もしくは曜日を指定してオーダー可能なこと		
312		108	投与間隔日数もしくは曜日を指定した際、投与日数を自動計算可能なこと		
313		109	オーダーを流用する際、間隔投与日数、曜日を引継ぐことが可能なこと		
314		110	処方オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
315		111	入院患者において薬の服用有無を記録することが可能なこと		
316		112	分割調剤が可能であること		
317		113	処方オーダー時に特定薬剤と連動し文書作成が可能なこと		
318		114	処方オーダーの薬剤選択時、既定値の薬剤コメントが選択されること		
210	7.検体検査オーダー	4	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
319		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示		
320			内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 適用保険選択によるオーダーが可能なこと		
321		3	以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは、他のシステムで入力済みの項目については、選択入力		
322		4	または自動表示可能なこと		

20.040 物形 物の 機能を対していまった。						
224 5 ・ 検索性 株式 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	<u>i</u> UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1	323		5	・検査種別検査項目(一般、生化、血液、血清、細菌、遺伝子検査(PCR等の検体系)など)		
325 7 ・機体材料 20 ・機度が成し、使用機能、企会がは、(傾間検責) 326 8 ・機度が成し、使用機能、企会がは、(傾間検責) 9 ・機能が極めばが発用((色質が成) 22 22 22 22 22 23 24 24				・検査日時および、同一日の同一項目の時間指定		
326 8 小笠良か点、使西採科、使用金属、企作の場合。				•検体材料		
327 9 地面時間には薄相(偏向接触) 地面には対象を開発している。 地面には対象を開発している。 地面には対象を開発している。 地面には対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係を関係している。 地面に対象を関係を関係に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を関係している。 地面に対象を表示的をしている。 地面に対象を表示的に対象を表示の、 地面に対象を表示の、 地面に対象を表示				·培養方法、検査材料、使用薬剤、染色方法(細菌検査)		
10				・検査時間および薬剤 (負荷試験)		
1 入力は、映画伝承でインテで開口設定形式で行えること 330 12 密明に応じて観念れば至急期へのルベル指定が可能なこと 331 14 第四に応じて観念れば至急期へのルベル指定が可能なこと 332 14 第四次は至急数のが指定は、保護の日単位に可能なこと 332 14 第四次は至急数のが指定は、保護の日単位に可能なこと 333 15 阿男外検索、同日指定検索を入力可能なこと 334 16 が注意点、保険外検索と同様以スーター可能なこと 335 17 マット入がはシャウィル・アックル・アックル ドウックル ドウッル ドウックル ドウッグル				・定型コメントおよびフリーコメント		
330 12 2				入力は、検査伝票イメージで項目選択形式で行えること		
331 13 電急とび至急検討が、機能表示可能なこと 332 14 2				運用に応じて緊急および至急扱いの2レベル指定が可能なこと		
14				緊急および至急扱いの指定は、検査項目単位に可能なこと		
15 特殊外検査 曜日海芝検査を入力可能なこと				緊急および至急検査が、識別表示可能なこと		
334				時間外検査、曜日指定検査を入力可能なこと		
15			15			
18 複数のオーターも1つにまとめてオーター可能なこと 18 複数のオーターでは、たいたでは、かいて画面ででかった特別が出別可能なこと 20 検体検査でいた複数を繋いた後、一つのセットを削減した場合、重視している検査項目は用除せず残 性もなこと 21 入フルたオーターで検成したでいた。かいて画面ででかった特別が関切可能なこと 22 オーター入力、周目を検査機関がことに一覧表示でき、オーター内容の確認が可能なこと 23 か要したして検体でとにコントが入力可能なこと。また、検査部門からのコメント情報を表示可能なこと 344 23 が表したして、検性を造オーターでは以下のチェック機能を有すること 345 (他の魔末から入力中の検査データ・ラビュンアの対象とすること 346 25 (検査項目の重視チェック 347 26 (他の魔末から入力中の検査データ・ラビュンアの対象とすること 346 28 (株体変更指示剤の検体と検査項目の変当性チェック 347 29 制御検査所の関係を使産項目を入力側面で影響可能なこと。また、入力しなが冷極認可能なこと 348 30 (財産の事の異常値検査・項目を入力側面で影響可能なこと 350 32 (市場のカレンダーの進移状況をカレンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること 350 32 (市場のカレンダーの選及で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 (事業が入め、表示期間など) (日間選択により、表示期間なこと 352 34 (日間選択により、表示期間から、2週間以上表示)に指示された。全でのオーターの内容が表示可能なこと 353 35 35 35 35 37 が記すイーターについて、機体サラル・「単取扱事業の発行、免疫行、両発行が可能なこと 355 37 初門で一指指示に、診察判別、保養別にオーターは関わる詳細情報が表示可能なこと 356 38 検体手でルには、以下の情報がD字可能なこと 357 39 検体手でルには、以下の情報がD字可能なこと 358 4 0 患者日の						
19 会体検査セットを複数登録した後、一つのセットを削除した場合、裏視している検査項目は削除せず残とさこと 保体検査イーターで作成したセットは、加テ面面でセット名称が識別可能なこと 入力したオーターを複数の目付にピーする模能を有すること スカレにオーターを複数の目付にピーする模能を有すること スカレにオーターを複数の目付にピーする模能を有すること スタースカガ目を検査機関にどに一覧表示でき、オーター内部の機能が可能なこと スタースカガ目を検査を開いてと、一覧表示でき、オーター内部の機能が可能なこと 会検検検査パーターでは以下のチェック機能を有すること 会性検検査パーターでは以下のチェック機能を有すること 会の鑑まがら入力中の検査データモナェックの対象とすること 会を選択目の服務が与入力中の検査データモナェックの対象とすること 会を変更指示時の検化と検査項目の受当性チェック 会検変更指示時の検化と検査項目の受当性チェック 会検変更指示時の検化と検査項目の受当性チェック 会検変更指示時の検化と検査項目の受当性チェック 会検変更に対象の関本を検定項目を入力・適の定域可能なこと 内核、部門でエーターの連挙状況を加ンター形式等で表示し、以下の機能を有すること 市後の加ンターも出表、未来4年期以上)表示可能なこと 市後のルンターも出表、未来4年期以上)表示可能なこと 市後のルンターも出表、未来4年期以上)表示可能なこと 会表の選択により、表示期間なこと 会表の選択により、表示期間なこと 会表の選択により、表示用語なこと 会表されたオーターについて、機体ライル・変形音楽の発行、仮発行、用発行が可能なこと 会表されたオーターについて、機体サイル・が取りが、発生の影響の、中止股系指示が行えること 会検検が取りを指示に、影解材別、病様がエーター連挙状況が表示されること 会検検が下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会核検が下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会核をアイルには、以下の情報が呼を可能なこと 会核検が下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会核をアイルには、以下の情報が呼を可能なこと 会核検が下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会者目Discontral に対していて、以下の情報が呼を可能なこと 会核をアイルには、以下の情報が呼を可能なこと 会核をアイルには、以下の情報が呼を可能なこと 会核をアイルには、以下の情報が呼を可能なこと 会者目Discontral に対しまします。 会検検が下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会様を下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会様を下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会様を下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会様を下れては、以下の情報が呼を可能なこと 会様を下れては、対しないないないないないないないないないないないないないないないないないないない						
19 世紀之 19 世紀 19 世紀之 19 世紀 19 世紀			18			
339 21 入力したオーターを複数の目付にピーする機能を有すること	337			せること		
340 22 オーダー入力項目を検査種別だとに一覧表示でき、オーダー内容の種認が可能なこと 341 23 必要に応じて検付ことにコメトが入力可能なこと。また、検査部門からのコメント情報を表示可能なこと 24 検外検査オーダーでは以下のチェック機能を有すること 25 ・検査検査オーダーでは以下のチェック機能を有すること 25 ・検査項目の重複チェック 26 ・他の離末から入力中の検査データもチェックの対像とすること 27 ・検査提示目の体験目チェック 346 28 ・検検変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 346 28 ・検検変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 新回検査時の異常値検査項目を入力画面で起源可能なこと。また、入力しながの種能可能なこと 368 30 病体、部門でオーダーの進掛状況をカレンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること ・前後のカレンダーも(過去、未来 4 年間以上)表示可能なこと 350 32 ・カレンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 表示書間なこと 351 33 表示書間なこと 352 34 日が選択により、接当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 35 35 表示されたオーダーについて、検体多次レ・採取指示機の条件、仮発行、再発行が可能なこと 355 37 ・部では、大手が推断が、未実施指示、中止指示、中止取用指示が行えること ・部では、以下の情報が印字可能なこと ・機体すべルには、以下の情報が印字可能なこと ・患者氏名 358 36 37 37 38 36 37 38 36 37 38 36 37 38 36 37 38 36 37 38 36 38 39 41 ・患者氏名 355 37 38 36 37 38 36 37 38 36 37 38 36 38 39 41 ・患者氏名 355 37 38 36 37 38 39 41 ・患者氏名 359 31 356 38 36 37 38 39 39 41 ・患者氏名 359 31 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 350 35						
341 23 必要に応じて検体でとにコメントが入力可能なこと。また、検査部門からのコメント情報を表示可能なこと 342 24 核体検査オーターでは以下のチェック機能を有すること 343 25 ・検査項目の重複チェック 344 26 ・他の端末から入力中の検査データもチェックの対象とすること 345 27 ・検査費指示目の休診日チェック 346 28 ・検体変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 期回検査師の異常価検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しながら確認可能なこと 348 30 病様、部門でオーターの進捗状況をカレンター形式等で表示し、以下の機能を有すること 350 31 ・前後のカレンダーもの選択で、より、表示可能なこと 350 32 ・カレンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択により、表示期間内 (2週間以上表示)に指示された。全てのオーダーの内容が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全での患者のオーターに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーターにコレて、検体タベル・採取指示薬の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーターにコレて、静保がパ・スター進捗状況が表示されること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病体別パ・スター進捗状況が表示されること 356 38 検体をプリルには、以下の情報が印字可能なこと 357 39 検体をプリルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ED 359 41 ・患者氏名	339					
342 24 検件検査オーターでは以下のチェック機能を有すること 343 25 ・検査項目の重複チェック 344 26 ・他の端末から入力中の検査データモチェックの対象とすること 345 27 ・検査場示目の休診日チェック 346 28 ・検件変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 前回検査時の異常値検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しながら確認可能なこと 348 30 所練、節門でオーダーの進捗状況をカンター形式等で表示し、以下の機能を有すること 349 31 ・前後のカンラーも(過去、未来 4 年間以上) 表示可能なこと 350 32 ・カレンター上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 表示自死ると 351 33 表示自死ると 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全での患者のオーターに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーターについて、検体ラベル・採取指示環の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーターについて、検体ラベル・採取指示環の発行、仮発行、再発行が可能なこと 355 37 ・部門で・括指示にて、診療科別、病検別にオーター進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示環に、患者IDNkのパーコードが印刷されること 357 39 検体テベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 359 41 ・患者氏名			22			
342 24 25 ・検査項目の重複チェック 25 ・検査項目の重複チェック 26 ・他の端末から入力中の検査データもチェックの対象とすること 26 ・他の端末から入力中の検査データもチェック 345 27 ・検査協示日の休診日チェック 346 28 ・検体変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 前回検査時の異常値検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しながら確認可能なこと 348 30 病棟、部門でオーターの進捗状況を加レンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること 368 31 ・前後の加レンダーも(過去、未来 4 年間以上) 表示可能なこと 350 32 ・加レンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択により、表示期間内(2週間以上表示)に指示された。全てのオーターの内容が 表示可能なこと 351 35 表示されたより、該当日に指示された全ての患者のオーターに関わる詳細情報が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーターに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 表示されたオーターについて、検体テベル・採取指示類の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 表示されたオーターについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること 356 38 ・検体採取指示類に、患者IDNaのパーコードが印刷されること 357 39 検体がルルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID ・ま者ID ・ま者ID ・患者ID ・	341		23			
343 25 344 26 ・他の端末から入力中の検査データもチェックの対象とすること 345 27 ・検査指示日の休診日チェック 346 28 ・検体変更指示詩の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 前回検査詩の異常値検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しながら確認可能なこと 348 30 病株・部門でオーターの進捗状況を加レンター形式等で表示し、以下の機能を有すること 349 31 ・前後の加レンターも(過去、未来4年間以上)表示可能なこと 350 32 ・カレンター上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択でより、表示期間内(2週間以上表示)に指示された、全でのオーターの内容が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、表当日に指示された全での患者のオーターに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーターについて、解体ラバル・採取指示環の発行、原発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーターについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止指示、中止限消指示が行えること 355 37 ・部件採取指示票に、患者口配のバーコードが印刷されること 356 38 ・検体採取指示票に、患者口配のバーコードが印刷されること 357 39 検体をアルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者10 359 41 ・患者氏名	342		24			
345 27 ・検査指示日の休診日チェック 28 ・検件変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 前回検査時の異常値検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しなが5確認可能なこと 348 30 病棟、部門でオーダーの進捗状況を加ングー形式等で表示し、以下の機能を有すること 349 31 ・前後の加ングーも(過去、未来 4 年間以上)表示可能なこと 350 32 ・カレングーと(過去、未来 4 年間以上)表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択により、表示期間内(2 週間以上表示)に指示された、全でのオーダーの内容が表示可能なこと 351 35 ・当者氏名の選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示薬の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示薬に、患者1DMのパーコードが印刷されること 357 39 校体チベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者1D ・患者1D ・患者1D ・患者1D ・ま者1D ・ままむ1D ・	343		25			
346 28 ・検体変更指示時の検体と検査項目の妥当性チェック 347 29 前回検査時の異常値検査項目を入力画面で認識可能なこと。また、入力しながら確認可能なこと 348 30 病棟、部門でオーダーの進捗状況をカレンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること 349 31 ・前後のカレンダーも(過去、未来 4年間以上)表示可能なこと 350 32 ・カレンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択により、表示期間内 (2週間以上表示)に指示された、全てのオーダーの内容が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示票の発行、仮発行、両発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示票に、患者IDNeのパーコードが印刷されること 357 39 検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 359 41 ・患者氏名	344		26			
346 28 347 29 前回検査時の異常値検査項目を入力画面で認識可能なごと。また、入力しながら確認可能なごと 348 30 病棟、部門でオーダーの進捗状況をカレンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること 349 31 ・前後のカレンダーも(過去、未来 4 年間以上)表示可能なごと 350 32 ・カレンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択により、表示期間内(2週間以上表示)に指示された、全てのオーダーの内容が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーダーについて、検体テベル・採取指示薬の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーダーについて、検体テベル・採取指示薬の発行、仮発行、再発行が可能なこと 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示薬に、患者IDNaのバーコードが印刷されること 357 39 検体デバルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 359 41 ・患者氏名	345		27			
348 30 病棟、部門でオーダーの進捗状況をカレンダー形式等で表示し、以下の機能を有すること 349 31 ・前後のカレンダーも(過去、未来 4 年間以上)表示可能なこと 350 32 ・カレンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 ・患者氏名の選択により、表示期間内(2 週間以上表示)に指示された、全てのオーダーの内容が表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 353 35 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示薬の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 366 37 ・体体採取指示薬に、患者IDNaのパーコードが印刷されること 377 39 校体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID ・患者ID ・患者ID ・患者ID 359 41 ・患者氏名 41 ・患者氏名 41 ・患者氏名	346		28			
349 31 ・前後のカレンダーも(過去、未来4年間以上)表示可能なこと 350 32 ・カレンダー上の選択で、詳細情報が表示可能なこと 351 33 表示可能なこと 351 33 表示可能なこと 352 34 ・日付選択により、表示期間内(2週間以上表示)に指示された、全てのオーダーの内容が表示可能なこと 352 35 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示票の発行、仮発行、再発行が可能なこと 353 35 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示票の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示票に、患者IDNaのパーコードが印刷されること 357 39 検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID ・患者氏名	347		29			
31 32	348		30			
350 32 33 351 33 352 353 354 36 355 37 356 38 40 357 358 40 359 41 355 350 351 352 353 355 355 356 357 358 40 355 356 357 358 41 355 356 357 358 41 355 356 357 358 41 355 356 357 358 41 355 356 357 358 41 355 356 357 358 41 355 356 357 358 41 355 356 357 358 357 358 357 358 359 358 359 358 359 358 359 358 359 358 359 358 359 358 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 355 3	349		31			
351 33 表示可能なこと ・日付選択により、該当日に指示された全ての患者のオーダーに関わる詳細情報が表示可能なこと 352 353 ・表示されたオーダーについて、検体ラベル・採取指示票の発行、仮発行、再発行が可能なこと 354 36 ・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示票に、患者IDNaのバーコードが印刷されること 357 39 検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 41 ・患者氏名 41 ・患者氏名	350		32			
352 34 35 35 35 35 35 35 35	351		33	表示可能なこと		
353 35 354 36 ・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止取消指示が行えること 355 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進歩状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示票に、患者IDNaのバーコードが印刷されること 357 39 検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 359 41 ・患者氏名	352		34			
354 36 36 37 ・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること 356 38 ・検体採取指示票に、患者IDNaのバーコードが印刷されること 357 39 検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 359 41 ・患者氏名 41 ・患者氏名	353		35			
355 37 37 38 ・検体採取指示票に、患者IDNaのバーコードが印刷されること 357 39 校体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 359 41 ・患者氏名 41 ・患者氏名 41 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	354		36			
356 38 38 38 39 検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと 358 40 ・患者ID 359 41 ・患者氏名 41 ・患者氏名 359 37 38 38 39 39 39 39 39 39	355		37	・部門で一括指示にて、診療科別、病棟別にオーダー進捗状況が表示されること		
357 39	356		38	・検体採取指示票に、患者IDNaのバーコードが印刷されること		
358 40 41 ·患者氏名 41 ·患者氏名	357		39	検体ラベルには、以下の情報が印字可能なこと		
359 41	358		40	·患者ID		
1 1076	359		41	・患者氏名		
360 42 ・検査名	360		42	・検査名		
361 43 ・採取日時	361		43	- 採取日時		
362 44 ·/ང¬¬¬ド	362		44	・パーコード		
363 45 ・採液本数	363		45	•採液本数		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
364		46	·採取量		
365		47	・採取ナンバー		
366		48	・採取管の種類		
367		49	- 検査材料種別		
368		50	・感染症情報		
369		51	・診療科など		
370		52	•保存方法		
371		53	外来診察室または処置室採液の検体ラベル、検査指示書は指定部署で出力可能なこと		
372		54	定時採血締切時間以降はシステムにて自動判断を行い、病棟で検体ラベル、検査指示書が出力可能なこと		
373		55	日付未定のオーダーが可能であること		
374		56	曜日別、時間別に採取時間の規定値管理が可能なこと		
375		57	項目が分からない場合、検索し入力可能なこと		
376		58	入院患者の検体採取ラベルは当該患者の病棟端末で、病棟ごとに一括、またはオーダー単位で発行可能なこと		
377		59	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
378		60	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
379		61	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
380		62	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の検体検査オーダーの内容がJア ルタイムで参照可能なこと		
381		63	数ヶ月に1回のみ算定可能な検査項目の期間が重複していないかをオーダー時にチェック可能なこと		
382		64	一般検査項目のキーワード検索が可能なこと		
383		65	検査オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
384		66	検査項目の組合せチェックが可能であること		
385		67	カルテ起動時に特定検査項目の経過日数を通知できること		
	8.検体検査結果照会		検査結果画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
386		1	別ウィンドウ表示した場合は、検査結果画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表		
387		2	示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 検体検査の結果を検査システムからオンラインにて取り込みが可能なこと		
388		3	各科検査の結果を入力可能なこと		
389		4	取り込まれた結果は日付別、検査種別に参照が可能なこと		
390		5	検査結果は検査項目を時系列で参照が可能なこと		
391		6	検査結果は検査項目を指定しない場合、表示期間内に含まれる全ての検査項目を特系列で参照が		
392		7	の一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部できた。 一部できた。 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたがが、 できたが、 できたが、 できたが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたがが、 できたががが、 できたががががが、 できたががががががががががががががががががががががががが		
393		8	別表示が可能なこと 選択した検査結果をグラフ表示可能なこと		
394		9	選択した検査結果をカルテに表形式で貼り付けが可能なこと		
395		10	カルテ画面を参照しながら、結果参照が可能なこと		
396		11	以下の内容の検査結果が表示可能なこと		
397		12	・検査日指定で検査種別ごとの検査結果一覧表示		
398		13	・検査項目別または検査セット指定による時系列表示		
399		14	・検査項目指定または検査セット指定による時系列グラフ表示		
400		15	検査結果時系列グラフ表示画面の表示方法は、設定により以下について変更可能なこと		
401		16	・日付表示位置		
402		17	・日付、結果値の表示方法		
403		18			

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
404		19	時間軸グラフの表示ができ、経過時間を認識可能なこと。		
405		20	基準値を越える検査結果は、識別表示可能なこと		
			検査結果の到着は、リアルタイムで知らせること		
406		21	検査結果により感染症および血液型情報の自動反映が可能であること		
407		22	検査結果報告書の印字が可能であること		
408		23	検査結果を画質よく見ることが可能であること (写真等の結果について拡大できるなど)		
409	0 序冊 (知辨於,細胸於) + /	24	1大日相木と圏具み(元の)こと (フスサッ相木にノいて風/(くさかん)		
410	9.病理(組織診・細胞診)オータ	1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
411		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
412		3	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 複数の材料、採取方法が選択可能なこと。選択された材料により左右の指示が可能なこと		
413		4	目的となる病名が指定でき、患者病名またはマスター設定した病名から選択可能なこと		
414		5	採取日、時間の指定が可能なこと		
415		6	臨床情報の登録が可能なこと。頻繁に使用する内容についてはマスター登録可能なこと		
416		7	オーダー登録時にラベル発行が可能なこと		
417		8	採取方法、検査種、加算情報が入力可能なこと		
		9	検査目的が予め用意された選択肢から選択可能であること		
418			臨床経過、検査成績の登録が可能なこと。頻繁に使用する内容についてはマスター登録可能なこと		
419		10	複数の臓器および臓器数が選択可能なこと		
420		11	臓器ごとにグループの概念を持たせ、同一のグループは一つの臓器として判断可能なこと		
421		12	目的となる病名が指定でき、患者病名またはマスター設定した病名から選択可能なこと		
422		13	患者情報として喫煙歴、飲酒歴などの情報が入力可能なこと		
423		14	オーダー登録時にラベル発行が可能なこと		
424		15	カープー 登録時に プリッチャリ かっぽっとこ		
425		16			
426		17	病理組織オーダーにて、登録した臓器の分類や個数に応じて、検査種を自動判定可能なこと		
427		18	自動判定する検査種は、設定により自由に作成可能なこと(最大8グループ)		
428		19	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
429		20	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
430		21	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
431		22	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の病理オーダーの内容がJアルタイムで参照可能なこと		
432		23	病理オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
433		24	日付未定のオーダーが可能であること		
434		25	病理検査は外注依頼のため、オーダー依頼が可能であり、報告書や臓器写真の取り込みが可能である こと (外注先と確認必要)		
	10.生理オーダー	I	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと	I	·
435		1	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
436		2	のパイン・スタハのにあった。パーテー回面に応じ、同時でをタバッなこ。を多から日度動であたして、タバトの客は加上の画面と同等の情報を表示すること 適用保険選択によるオーケーが可能なこと		
437		3	周が球形のほかによるイーテーが可能なこと 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力また		
438		4	は自動表示可能なこと		
439		5	・検査種別		
440		6	・検査項目		
441		7	- 検査薬剤		
442		8	・検査目的		
443		9	-病名		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
444		10	·検査日時		
445		11	・定型コメントおよびブリーコメント		
446		12	当日緊急オーダー指定が可能なこと		
447		13	診療科別、初診時、入院時、術前後セット等のセット選択入力が可能なこと		
448		14	予約の必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力が可能なこと		
449		15	予約時間が重複した場合は、警告表示が可能なこと		
450		16	予約入力時に既予約情報を同一画面で表示可能なこと		
451		17	予約入力時に、診療予約も同時に取得可能なこと		
452		18	複数の検査項目の予約を、一画面で取得可能なこと		
453		19	患者別の検査指示書を、必要に応じて出力可能なこと		
454		20	患者受付は以下の方法で可能なこと		
455		21	診察券		
456		22	·患者ID入力		
457		23	·予約患者一覧選択		
458		24	検査予定表が出力可能なこと		
459		25	オーダー内容を元に、以下の内容を入力が可能なこと		
460		26	・オーダー指定日時、検査種別ごとに実施入力が可能なこと		
461		27	・使用薬剤、診療材料の入力が可能なこと		
462		28	・実施内容は医事会計システムへ送信が可能なこと		
463		29	・受付により、即実施と可能な検査項目を設定が可能なこと		
464		30	生理検査履歴表示として以下の内容の表示が可能なこと		
465		31	・日付(オーダー日)		
466		32	•入外区分		
467		33	-診察科		
468		34	-依頼医師		
469		35	・オーダー進捗状況(未実施、受付済み、実施済み、中止等)		
470		36	薬剤が必要な検査は、薬剤のセット登録が可能なこと		
471		37	生理検査オーダーの実施入力およびコメントを付加することが可能なこと		
472		38	タックシールの発行(台紙に貼るための患者ID番号、氏名、生年月日、年齢、検査日等が印刷された シール)が可能なこと		
473		39	受付時、診察券またはバーコードによる患者情報の取り込みが可能なこと		
474		40	項目単位に文書作成と連動して必要な文書の作成が可能なこと		
475		41	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
476		42	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
477		43	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
478		44	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の生理オーダーの内容がJアルタイムで参照可能なこと		
479		45	画像生理依頼票に、患者チェック項目のチェック内容について印字されること		
480		46	生理オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
40:	11.画像オーダー 基本機能		オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
481		1	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
482		3	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 適用保険選択によるオーダーが可能なこと		
483		3			

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
484		4	以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは他のシステムで入力済みの項目については選択入力また		
485		5	は自動表示可能なこと ・検査種別による検査項目		
486		6	・撮影種別ごとの部位・手技・撮影方向		
487		7	・検査目的		
488		8	・検査薬剤の入力		
489		9	·病名		
490		10	·検査日時		
491		11	・至急現像の指示		
492		12	・定型コメントおよびフリーコメント		
493		13	撮影項目ごとに、病名、検査目的、定型コメントおよびフリーコメントを必須入力とするか否かを、設定に		
494		14	より変更可能なこと 検査薬剤と、個人禁忌薬剤との禁忌チェックが可能なこと		
495		15	当日緊急オーダー指定が可能なこと		
496		16	診療科別、初診時、入院時、術前後セット等のセット選択入力が可能なこと		
497		17	予約の必要な検査は、検査指示と一連の操作で入力可能なこと		
498		18	予約時間が重複した場合は、警告表示可能なこと		
499		19	予約入力時に既予約情報を同一画面で表示可能なこと		
500		20	予約入力時に、診療予約も同時に取得可能なこと		
501		21	オーダー時、患者確認チェック項目が患者基本と連動し、医療過誤防止を支援する機能を有しているこ		
502		22	と 患者確認チェック項目で一つでも未確認も内容がある場合、警告もしくはエラーが表示されること		
503		23	体内金属のチェック以外にも、患者の同意書の有無もチェック対象であること		
504		24	複数の検査項目の予約を、一画面で取得可能なこと		
505		25	患者別の検査指示書を必要に応じて出力可能なこと		
506		26	画像検査履歴表示として以下の内容の表示が可能なこと		
507		27	・日付(オーダー日)		
508		28	·入外区分		
509		29	-診察科		
510		30	-依頼医師		
511		31	・オーダー進捗状況(未実施、受付済み、実施済み、中止等)		
512		32	放射線画像管理システムから送信された画像データが表示可能なこと		
513		33	検査日指定で検査結果(画像)および読影レポート表示が可能なこと		
514		34	放射線部門からのコメント情報を表示可能なこと		
515		35	診療科別、初診時、入院時、術前後セット等の登録が可能なこと。薬剤が必要な検査は、薬剤のセット 登録も可能なこと		
516		36	豆鉢でり形でんこと 患者のベースメーカ(金属)チェックが可能なこと		
517		37	オーダーにてシェーマを使用した依頼が可能なこと		
518		38	項目単位に文書作成と連動して必要な文書の作成が可能なこと		
519		39	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者が最終更新者を設定により変更可能なこと		
520		40	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
521		41	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
522		42	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の画像検査オーダーの内容がJア ルタイムで参照可能なこと		
523		43	撮影機種ごとに、結果受信の対象および対象外を指定可能なこと		
524		44	画像生理依頼票に、患者チェック項目のチェック内容について印字されること		

通UNo 525	機能	No 45	機能詳細 患者薬剤アレルギー情報と薬剤禁忌チェックが可能なこと	可否	理由
526		46	画像オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
527		47	画像オーダー登録時に撮影項目の組合セチェックが可能であること		
528		48	カルテ起動時に特定撮影項目の経過日数を通知できること		
529		49	画像オーダー入力画面はログイン者独自でカスタマイズできないこと(一括変更のみ)		
530	画像予約スケジュール照会	1	検査室ごとの予約状況を一週間単位で確認できること		
	12.画像結果照会	I	画像結果照会画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
531		1	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
532		2	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
533		3	画像結果はファイル、スキャナ取り込み、画像システムとの連携により取り込みが可能なこと		
534		4	取り込んだ画像結果はモダリティ別、時系列で管理が可能なこと		
535		5	取り込んだ画像には編集、コメント追加が可能なこと		
536		6	画像はカルテに貼り付けが可能なこと		
537		7	カルテ画面を参照しながら、結果参照が可能なこと		
538		8	検査種(撮影種)ごとにレポートの記載が可能なこと		
539		9	レポートのテンプレートを新規に作成が可能なこと		
540		10	Excelで作成したテンプレートの取り込みが可能なこと		
541		11	レポートにシェーマの登録も可能なこと		
542		12	レポートの進捗状況を一覧で確認可能なこと		
543		13	作成したレポートは一覧で確認可能なこと		
544		14	作成したレポートの内容は、一覧画面もしくはカルテ画面から参照可能なこと		
545		15	カルテ画面のオーダツリーからレポートの有無が確認可能なこと		
546		16	エコー写真の画像が拡大可能であること		
547		17	エコーの仮報告がシステムとして可能であること		
	13.予約オーダー	l			
548		1	オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
549		2	患者の診療予約や検査予約を登録し、予約票が発行可能なこと		
550		3	基本スケジュール、月例スケジュールを作成可能なこと		
551		4	基本スケジュール作成時、時間ごとの規定値ポイントを設定可能なこと		
552		5	患者に登録された診療予約および検査予約の取得状況を、サマリー形式で表示すること		
553		6	登録済み予約日付枠の選択により、予約の修正や削除が行えること		
554		7	予約を登録したユーザーや削除したユーザーや日時などの履歴の参照が可能なこと		
555		8	複数の予約スケジュールを表示し、予約の空き状況が確認可能なこと		
556		9	操作者の任意で、最大15項目の予約スケジュールを一画面で表示し、予約の空き状況が確認可能な		
557		10	予約の空き状況は、数字表示、マーク表示が設定で選択可能なこと		
558		11	複数の予約スケジュールを表示し、一度に予約を取得可能なこと		
559		12	予約スケジュールカレンダーの日付枠を選択することで、その日付に予約を登録可能なこと		
560		13	予約スケジュールカレンダーは、当日を基準とし○週間後、○ヶ月後とページ送りがワンクリックで行え、該		
561		14	当日に色が付き一目で把握可能なこと 取得済みの予約時間、予約区分および行為区分が変更可能なこと		
562		15	予約修正の際、既存で予約を取得している日付に色が付き、何時の予約を変更するか確認が容易なこ		
563		16	と 予約の依頼医師、準備品、コメントの登録が可能なこと		
			行為区分をあらかじめ設定することにより、患者ごとに予約ポイント数を指定し、登録可能なこと		
564		17			

\Z	165.61				10.4
通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
565		18	基本スケジュール照会は、以下の機能を有すること		
566		19	・予約の枠単位にスケジュールを作成すること		
567		20	・曜日選択により詳細スケジュールの編集が可能なこと		
568		21	・曜日ごとに時間枠と1日枠の予約ポイント数を設定し、登録可能なこと		
569		22	・必要に応じて、入外限定、診療科限定の情報が登録可能なこと		
570		23	予め連動予約項目設定しておくことにより、複数の予約を同時取得可能なこと		
571		24	予約は1年以上先まで予約可能なこと		
572		25	他の予約項目と連動取得が可能なこと		
573		26	予約時間単位で、入院、外来の登録制限をかけることが可能なこと		
574		27	予約項目単位で、診療科の取得制限をかけることが可能なこと		
575		28	予約項目単位に、1日の予約取得可能な最大人数の指定が可能なこと。1日内の強制入力数に制限がかけれること		
576		29	予約画面は、カレンダー形式と一覧形式を設定により切替えが可能なこと		
577		30	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
578		31	予約取得業務を円滑に行うために、予約項目の並び順、表示/非表示をマスターで設定可能なこと		
579		32	予約情報の操作履歴を簡易的に参照可能なこと		
580		33	時間未定の予約を登録可能なこと		
	14.注射オーダー 基本機能		オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
581	₩/WHC	1	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
582		2	内の子はカルウに参加しない 回面に応じますをながすること。 後女心自足動で心足して、女が 内容はカルラー面面と同等の情報を表示すること 適用保険選択によるオーターが可能なこと		
583		3	薬剤検索等の方法を利用して注射に関する情報を登録し、注射箋を発行すること		
584		4	オーダーが正常に登録されたが、注射箋が発行されなかった場合、メッセージを表示し、操作者に対し再		
585		5	パープーが正元に対象されてい、まずいまかまりさいながった場合、スクピープを表がい、まずい日に対し付 発行を促すことで発行の漏れを防ぐことが可能なこと 患者の注射履歴(当日を含め前後 2週間分)をサマリー形式で一覧表示、印刷可能とすること		
586		6	表示された履歴単位または日付単位でDo入力、修正入力、実施入力を行うことが可能なこと		
587		7	セット入力はセットウィンドウから、ドラッグ&ドロップで簡単に可能なこと		
588		8	複数のオーダーを1つにまとめてオーダー可能なこと		
589		9	当日の注射オーダーを一覧形式にて表示でき、そこからクリックで実施可能なこと		
590		10	ヨロツは射オーツーを一見が立いにし致示じて、てこかつクリックで失適い」形はこと 情報の入力は「ルート(手技)選択→薬剤入力」、「薬剤入力→ルート選択」のいずれかを導入時に		
591		11	旧報のベスコミルード(ナカメ)を対して集内人フリ、「集内人フ」、ルードを対しるがは、10であった時に 設定可能なこと 薬剤の入力方法はフォルダーを利用して頻用薬剤から選択する方法と、カナ、アルファベット検案入力方		
592		12	条門の人が方法はスイルアーを利用して卵用条用がつ返がする方法と、ガンデルファマトや米入力方法等の2種類以上が可能なこと 薬剤検索時、リアルタイムで入力文字から候補薬剤を表示すること。 医師が多く利用している薬剤を、文		
593		13	来的で表示が、ケンシングとアンステアントは出来的でなが、すること。 CDD グンマッカいしている来的で、スータサイズを大き表示するなど、誤った薬を選択させない為の工夫がされていること 薬効検索が可能なこと		
594		14	無薬は識別表示可能なこと 麻薬は識別表示可能なこと		
595		15	所案は観測がなかりませること 用量は複数単位で選択入力可能なこと		
596		16	対策は後数ギゼ したがヘブリルになこと 以下の内容を入力が可能なこと。マスターまたは自動表示可能なこと		
597		17	以下の内容をヘノルが可能なこと。マスターまたは日期农不可能なこと ・薬剤		
598		18	· 用量		
599		19	・ ・ ・ ・ ・ 用法(手技、速度/時間、投与経路、実施時間/回数)		
600		20	・ ・投与期間		
601		21	・コメント (定型・ブリー)		
602		22			
603		23	・投与期間の入力は「朝」「昼」「タ」などの指定が可能なこと		
604		24	・投与期間の入力は部署、科ごとの時間セット指定が可能なこと		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
605		25	・ルート区分		
606		26	・採用期限が切れた薬剤を含む指示内容の流用時に、現在採用されている薬剤への変更が容易に可能なこと		
607		27	薬剤のDIを確認可能なこと		
608		28	診療科別、疾患別セットの選択入力が容易に可能なこと		
609		29	既オーダーを参照し、全部または一部を流用(Do処理)してオーダーが可能なこと		
610		30	診療科別、疾患別セットの登録が作成可能なこと。セットの作成、修正は容易にユーザー側で行えること		
611		31	必要に応じて以下のコメントが入力可能なこと		
612		32	・ルートに付加するコメントとして、ルートコメント、手技コメント		
613		33	・薬剤および使用量に付加するコメントとして、薬剤・使用量コメント		
614		34	・Rp.単位に付加するコメントとして、R Pコメント		
615		35	・注射オーダー全体のコメント		
616		36	実施期間の入力は連続指定(開始と終了の日付入力)、日付指定(6回分)が可能なこと		
617		37	実施期間の入力は任意に投与間隔(日数、曜日)の指定が可能なこと		
618		38	注射薬剤を入力した際、その注射薬剤に適応した病名を一覧表示し、その一覧から病名登録可能なこと		
619		39	入力時のチェック機能として以下を有すること		
620		40	・薬剤の警告量チェック、極量チェック、最大投与日数チェック		
621		41	・手技と注射薬の適合チェック		
622		42	・患者アレルギーチェック、妊産婦禁忌チェック		
623		43	・他注射オーダーとの重複チェック、絶対禁忌チェック、相互作用チェック、混合チェック		
624		44	・他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること		
625		45	・採用薬期限切れチェック		
626		46	・麻薬・特殊薬剤警告		
627		47	・処方薬剤との禁忌チェック		
628		48	・他の端末で入力中の処方データもチェック対象とすること		
629		49	・分割チェック、成分重複チェック、年齢別投与制限チェック、妊婦授乳婦チェック		
630		50	・禁忌病名チェック、適応病名チェック		
631		51	オーダーの進捗状況を今週と翌週の2週間分をカレンダー形式で表示し、以下の機能を有すること		
632		52	・指示により前後のカレンダーが表示可能なこと		
633		53	・日付を選択することにより、該当する日に指示された全ての患者のオーダーの詳細情報が表示可能なこと		
634		54	・表示されたオーダーについて、注射箋の発行、再発行が行えること		
635		55	・表示されたオーダーについて、削除指示、未実施指示、中止指示、中止取消指示が行えること		
636		56	・カレンダー上でのクリックやマウスドラッグにより、オーダーの流用が簡易に行えること		
637		57	・任意の日付を選択し、同日に投与するオーダー内容が時間順に把握可能なこと		
638		58	注射カレンダーはカルテ画面から直接起動可能なこと		
639		59	部門照会機能として、オーダーの進捗状況を一覧形式で表示し、以下の機能を有すること		
640		60	・患者照会指示にて、患者の詳細ウィンドウを表示すること		
641		61	・ 一括表示指示にて、一括オーダー進捗状況を表示すること		
642		62	・進捗別に背景色が自動で変更されること		
643		63	オーダー修正時、修正前と修正後の内容を同一画面で確認可能なこと。修正前と修正後の項目は文		
644		64	字色が変わり一目で把握可能なこと 注射履歴として、以下の内容の表示が可能なこと		
645		65	・日付 (オーダー日)		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
646		66	・診療科		
647		67	• 入外区分		
648		68	・全科・自科の切替表示が可能なこと		
649		69	・注射日指定で注射内容の表示が可能なこと		
650		70	カレンダー形式で注射予定および履歴の参照ができ、実施入力も可能であること		
651		71	RP.や回数別の実施入力を管理可能なこと		
652		72	定時、定期、臨時、至急、緊急等処方(注射)の開始日が、表示可能なこと		
653		73	注射オーダー入力時に、用法に応じた投与実施時間の規定値管理が可能なこと		
654		74	実施予定時間から、搬出時間を考慮し締切時間チェックが可能なこと		
655		75	搬出時間と、搬出時間を考慮した締切時間は、医療機関側で設定可能なこと		
			搬出時間を考慮した締切時間を過ぎた場合、緊急指示になること		
656		76	注射オーダーの新規、修正、実施、中止の各タイミングで、指示書発行の有無を個別に設定可能なこと		
657		77	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
658		78			
659		79	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
660		80	オーダー登録時に注射薬と連動した文書を登録可能なこと。また入院中の患者に対する文書、入院中 外来の患者に対する文書、外来患者に対する文書を分けて管理が可能であり、連動する文書は複数 登録可能なこと		
661	注射オーダー適応病名チェック	1	適応病名、禁忌病名との薬剤チェックが可能なこと		
662		2	適応病名チェックは注射オーダー登録時、注射オーダー流用時にチェックがかかること		
663		3	適応病名チェックがかかった注射薬剤に対し、適応病名の一覧を表示し、一覧より病名の登録まで行えること		
664		4	適応病名チェックに、複数の薬剤がかかった場合でも、薬剤ごとに適用病名の登録が行えること		
665		5	適応病名一覧画面では、適応病名を登録する必要のある薬剤数が、常に表示されていること		
666		6	適応病名の一覧では、病名の漢字名称もしくはカナ名称、キーワードの部分一致もしくは前方一致で病名の絞り込みが可能なこと		
667		7	登録する病名を、主病名として登録可能なこと		
668		8	登録する病名に疑いサインを付加可能なこと		
669		9	体重、対表面積、年齢別薬剤規定値計算が可能なこと		
670		10	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
671		11	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の注射オーダーの内容がJアルタ イムで参照可能なこと		
672		12	別々に登録されたオーダー内容についても、注射箋がまとめて印字可能であること		
673	-	13	注射オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
674	15.リハビリオーダー	_	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
674		1	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
675		2	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 適用保険選択によるオーダーが可能なこと		
676		3	疾患分類ごとにリハビリ指示内容を、起算日とするか、治療開始日とするか設定可能なこと		
677		4			
678		5	以下の内容を入力可能なこと		
679		6	・診断病名(登録されている患者病名からの選択またはフリー入力可能なこと)		
680		7	・障害名(複数選択可能なこと)		
681		8	・治療目標(主となるもの、副となるもの)		
682		9	・疾患分類 (脳血管疾患、運動器、呼吸器など)		
683		10	・診療報酬区分(理学、作業、言語および単位数)		
684		11	・訓練場所		
685		12	・加算の有無		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
686		13	・リハビリの内容		
687		14	·起算日		
688		15	・各種コメント(定型句からの選択またはフリー入力可能なこと)		
689		16	診断病名の入力チェックがかかること		
690		17	他科が登録したリハビリオーダーを修正可能なこと。ただし病院の運用により編集不可とすることも可能なこと		
691		18	依頼内容が反映されたリハビリ依頼箋が出力可能なこと		
692		19	予約状況が表示可能なこと。リハビリの予約が療法士ごとに可能なこと		
693		20	予約状況を参照しながら予約が可能なこと		
694		21	リハビリ依頼患者一覧から患者を選択し、療法士ごとの予約が入力可能なこと		
695		22	リハビリ予約は期間、曜日、時間を指定することにより一括で入力可能なこと		
696		23	リハビリ予約患者一覧から実施入力が可能なこと		
697		24	入院患者一覧から、リハビリ実施入力画面を起動可能なこと		
698		25	リルビリ実施入力時には、オーダー時、予約時に入力した情報を引き継ぐこと		
699		26	実施と予約の連動により療法士ごとの単位管理が可能であること		
700		27	リハビリ評価が入力でき、時系列表示が可能であること		
701		28	入院患者一覧から、リハビリ評価入力画面を起動可能なこと		
702		29	リバリ評価入力画面は、FIM、Barthel Indexなど選択した検査名に応じた入力画面が展開されること		
703		30	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
704		31	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
705		32	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
706		33	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中のリハビリオーダーの内容がリアル タイムで参照可能なこと		
707		34	リルビリオーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
708	16.処置 (汎用) オーダー	1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
709		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示		
710		3	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 適用保険選択によるオーダーが可能なこと		
711		4	以下の内容が入力可能なこと		
712		5	・処置項目		
712		6	・処置実施日および期間		
713		7	· 処置部位		
715		8	・処置薬、診療材料		
716		9	・定型コメントおよびフリーコメント		
717		10	処置薬剤の、個人禁忌薬との禁忌チェックが可能なこと		
717		11	病名登録が必要な項目については、登録時に病名オーダーが自動で起動すること		
719		12	処置薬剤、処置材料の検索機能を有していること		
720		13	処置内容がカレンダー形式で表示可能なこと		
721		14	カレンダー画面から指示の実施、中止等の実施入力が可能なこと		
722		15	カレンダー画面は、カルテ画面から直接起動が可能なこと		
723		16	カレンダーを参照しながら処置入力が可能なこと		
724		17	登録済みのオーダーを参照し、流用(Do処理)して処置オーダーが可能なこと		
725		18	科別、疾患別処置セットの選択入力が容易に可能なこと		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
726		19	処置項目により、即実施(オーダー登録時に実施とする)と予定実施(オーダー登録時は未実施とし、 処理を実施後に実施入力)に分けて管理可能なこと		
727		20	処置日付は既定値で当日に設定可能なこと。処置日付は期間の指定、過去日から未来日の期間指		
728		21	定も可能なこと オーダーとの付加情報として患者情報に加えて以下の項目を送信可能なこと		
729		22	-診察科		
730		23	•指示医師		
731		24	予定実施となる処置項目については、オーダー内容をもとに実施入力可能なこと		
732		25	オーダー単位ごとに実施入力が可能なこと		
733		26	使用薬剤、診察材料の規定値で設定可能なこと。実施入力時にはこれらの使用量を変更可能なこと		
734		27	実施入力は処置歴に反映可能なこと		
735		28	実施内容は医事会計システムへ送信されること		
736		29	診療科別、疾患別セットの登録が作成可能なこと。セットの作成、修正は容易に医療機関側で行えること		
737		30	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
738		31	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
739		32	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
740		33	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の処置オーダーの内容がリアルタ イムに参照可能なこと		
741		34	過去の処置オーダーを流用する際、登録可能な最大日数を医療機関の運用にあわせ、設定で変更可能なこと		
742		35	汎用オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
743		36	汎用項目のキーワード検索が可能であること		
	17.手術オーダー		オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
744		1	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示		
745		2	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 診療部門で手術予定情報を入力可能なこと		
746		3	手術予定では以下の情報を入力可能なこと。各項目ごとに必須と任意の設定が可能なこと		
747		4	-手術進捗		
748		5	・要求度		
749		6	·手術日		
750		7	· 手術室		
751		8	・入室予定時間		
752		9	・手術開始予定時間		
753		10	・順番		
754		11	- 所要時間		
755		12	·術前病名		
756		13	- 合併症		
757		14	·衛式		
758		15	· 依賴医		
759		16	· 手術室名		
760		17	・手術器材		
761		18	- テ-Wish20 - 麻酔科依頼		
762		19	· 陳		
763		20	・コメント (選択 or フリー)		
764		21	・コメント (記述) (1) フリー) 手術予定入力画面で必須事項を連続入力でき効率的な入力が可能なこと		
765		22	ュー・フィー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
766			手術予定入力画面で術式の選択には文字列検索が可能なこと		
766		23	手術予定入力画面で術式の横にKコードを表示可能なこと		
767		24	手術予定入力画面で感染症情報が自動表示され確認可能なこと		
768		25	手術予定入力画面で各種アレルギー情報が自動表示され確認可能なこと		
769		26	その患者についての全ての手術サマリーを表示し、詳細が参照可能なこと		
770		27	手術チャート画面を照会し、すでに登録されている手術オーダーの一覧、手術室の状況を参照することが		
771		28	可能なこと 部長医師等の承認後、手術部への手術依頼を入力可能なこと		
772		29	手術依頼では以下の情報を入力可能なこと。各項目ごとに必須と任意の設定が可能なこと		
773		30	・手術進捗		
774		31			
775		32	・要求度		
776		33	·手術日		
777		34	•手術室		
778		35	・入室予定時間		
779		36	·手術開始予定時間		
780		37	・順番		
781		38	·所要時間		
782		39	-術前病名		
783		40	・合併症		
784		41	-術式		
785		42	-依頼医		
786		43	・手術室名		
787		44	・手術器材		
788		45	·麻酔科依賴		
789		46	·戾b先		
790		47	・コメント (選択 or フリー)		
791		48	·体位		
792		49	・部位		
793		50	・麻酔法		
794		51	-手術材料		
795		52	・主治医		
795		53	- 術者		
		54	- 輸血製剤種		
797			手術依頼入力画面で必須事項を連続入力でき効率的な入力が可能なこと		
798		55	手術依頼入力画面で術式の選択には文字列検索が可能なこと		
799		56	手術依頼入力画面で術式の横にKコードを表示可能なこと		
800		57	手術依頼入力画面で感染症情報が自動表示され確認可能なこと		
801		58	手術依頼入力画面で各種アレルギー情報が自動表示され確認可能なこと		
802		59	子州市城へノ川回山 し を催アレルキー 同報が 日 動 衣 小 こ に 中 話 い 月 に ゆ と こ と ま か に 教情報の 登録 に よ り 手術 の 依頼 箋 が 出 力 可能な こ と		
803		60			
804		61	手術チャート画面にて、以下の情報が参照可能なこと		
805		62	・依頼科/在院科、入院病棟、進捗状態、対象期間、医師、看護師を指定することにより、条件にあった手術オーダーの一覧を表示可能なこと		
806		63	・手術日時点の予定科、予定病棟が手術チャート上で確認可能なこと		

'SI NI	+***		All Art Elektron	7.5	T9.ch
通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
807		64	・対象期間を指定することにより、期間内の各手術室の予約や使用状況を日付、手術室ごとで表示が 可能なこと		
808		65	・手術時間帯は、手術開始時間および手術進捗状態に応じた色で表示可能なこと		
809		66	・手術予定、依頼、手術決定がそれぞれ色分けされてスケジュールが表示でき、手術室が重複している時間帯は別色で表示されること		
810		67	・手術状況一覧画面にて、マウスカーソルを合わせることで、手術オーダー内容の簡易情報が確認可能 なこと		
811		68	・手術状況画面は、一日の手術室使用状況が画面をスクロールせずに確認可能なこと		
812		69	・何らかの理由で手術を実施できない日にち、時間帯を確認可能なこと。実施できない期間内は、手術オーダーの登録を不可とできること		
813		70	・手術チャート画面から、手術オーダー登録不可の期間と理由を登録、編集、削除が可能なこと		
814		71	・既に登録されている手術オーダー登録不可期間について、他端末で編集、削除が行われていた場合、その旨のメッセージを表示し、他端末で編集された内容を再表示可能なこと		
815		72	・既に登録されている手術オーダーの期間に、登録不可期間を登録しようとした際は、警告メッセージを表示させること。重複する期間に登録されている手術オーダーの簡易情報が表示されること		
816		73	患者カルテを開かずに、手術オーダー一覧から該当する手術オーダーの編集が可能なこと		
817		74	手術オーダー一覧から手術依頼を選択し、手術決定が入力可能なこと。入力時には手術依頼で入力した内容が、引継がれて表示されること		
818		75	手術決定では以下の情報を入力可能なこと。各項目ごとに必須と任意の設定が可能なこと		
819		76	- 手術進捗		
820		77	・要求度		
821		78	・手術日		
822		79	・手術室		
823		80	·入室予定時間		
824		81	·手術開始予定時間		
825		82	・順番		
826		83	・所要時間		
827		84	- 術前病名		
828		85	- 合併症		
			- 術式		
829		86	- 依賴医		
830		87	·手術室名		
831		88	・手術器材		
832		89	- 麻酔科依頼		
833		90			
834		91	- 戻9先		
835		92	・コメント (選択 or ブリー)		
836		93	-体位		
837		94	-部位		
838		95	·麻酔法		
839		96	・麻酔薬剤		
840		97	・手術材料		
841		98	・主治医		
842		99	-術者		
843		100	•輸血製剤種		
844		101	・直接看護師		
845		102	・間接看護師		
846		103	手術体頼まれ南南を成沙庁情報が自動事主はな認可能やこと		
847		104	手術依頼入力画面で各種アレルギー情報が自動表示され確認可能なこと		
UT/		104			

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
848		105	手術オーダー一覧から手術決定を選択し、手術実施入力が可能なこと。入力時には手術決定で入力したの円が、引き終めのアまニュヤなアント		
849			た内用が、引き継がれて表示されること 手術実施では以下の情報を入力可能なこと。各項目ごとに必須と任意の設定が可能なこと		
850		107	- 手術進捗		
851		108	·要求度		
852		109	-手術日		
853		110	-手術室		
854		111	·入室予定時間		
855		112	- 手術開始予定時間		
856		113	・実入室時間、退室時間		
857		114	•執刀開始時間、終了時間		
858		115	- 麻酔開始時間、終了時間		
859		116	,順番		
860		117	·所要時間		
861		118	-術前病名		
862		119	·合併症		
863		120	術式		
864		121	-依賴医		
865		122	- 手術室名		
866		123	・手術器材		
867		124	-麻酔科依頼		
868		125	·麻酔薬剤		
869		126	-麻酔医		
870		127	·戻0先		
871		128	・コメント (選択 or ブリー)		
872		129	-体位		
873		130	- 部位		
874		131	・麻酔法		
875		132	-麻酔薬剤		
876		133	- 手術材料		
877		134	·主治医		
878		135	·術者		
879		136	•翰血製剤種		
880		137	・直接看護師		
881		138	- 間接看護師		
882		139			
883		140	手術依頼入力画面で各種アレルギー情報が自動表示され確認可能なこと		
884		141	オーダー一覧からオーダーを選択し、該当するオーダーを取消すことが可能なこと		
885			オーダー一覧からオーダーを選択し、該当するオーダーを中止することが可能なこと		
886		143	オーダー一覧からオーダーを選択し、該当するオーダーを削除することが可能なこと		
887		144	オーダー一覧からオーダーを選択し、該当するオーダーの薬剤/材料払い出し票と手術確認表が出力可能なこと		
888		145	オーダーされた情報により、手術の予定表、手術会帳が出力可能なこと		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
889		146	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
890		147	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
891		148	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
892		149	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の手術オーダーの内容がリアルタ		
		150	イムに参照可能なこと 手術オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
893	18.病名オーダー	150			
894		1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
895		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示 内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
896		3	病名は過去の病名、現在の病名を分けて一覧にて表示可能なこと		
897		4	病名には、開始日、終了日、主病名、適用保険、各種サイン(疑い、慢性)を記載すること		
898		5	運用により、表示の必要がない病名の非表示が可能なこと		
899		6	病名はICD10に準拠していること		
900		7	病名の入力はカナ、コード、分類等から入力が可能なこと		
901		8	病名の検索は、検索文字列による部分一致検索が可能なこと		
902		9	病名は任意で分類分けが可能であること		
903		10	入力されている病名はカルテ画面に表示可能であること		
904		11	医師ごとの使用頻度に応じて頻用病名リストが自動的に作成され、そのリストから病名登録が容易に可		
905		12	能なこと。また登録の際は頭部、尾部、主病名、疑いサインも付加可能なこと 複数病名を一括して転帰可能なこと		
906		13	有効病名、転帰病名一覧は、初期の表示順を設定可能なこと		
907		14	カルテ画面で主病名や開始日等が識別可能であること		
907		15	カルテ画面を参照しながら、病名登録が可能であること		
			設定により医療機関内で使用頻度の高い接頭語をボタン表示でき、簡便に登録可能なこと		
909		16	操作者がよく使用する接頭語を一覧表示可能なこと。また、一覧から接頭語の登録が簡便に行えること		
910		17	設定により特定の疾患における一覧表示の背景色を変更可能であること		
911		18	病名を流用できること		
912	19.輸血オーダー	19			
913	19.489.11191	1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
914		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示するごと。複数患者起動を想定して、表示 内容はカルデ画面と同等の情報を表示すること		
915		3	アジェネのルア 回面に向手の同事を必求すること 血液製剤(MAP、FFP、PC)の他に、血漿分画製剤、アルブミン製剤の使用状況などを登録、管理可 能なこと、製剤の請求依頼が使用予定日単位に入力が可能なこと。その際には申込み単位数やT&S 依頼単位数、型違い指示や依頼時コメント入力などが行えること		
916		4	血液製剤依頼(交差適合試験含む)のための依頼書を印刷可能なこと		
917		5	T&Sによる血液製剤依頼書を、オーダーリング端末で印刷可能なこと		
918		6	T&Sによる血液製剤依頼書発行の際には、輸血歴と抗体スクリーニング実施日が確認可能なこと		
919		7	製剤請求依頼内容に従って、患者別に出庫(払出し)を行う製剤ロットを指定可能なこと。製剤ロット 指定時には、患者血液型、有効期限などのチェックが行えること		
920		8	出庫した製剤ロット単位に使用日、または戻入日の登録が可能なこと		
921		9	製剤番号(LotNo)の入力文字制限を設定ファイルから切替えが可能なこと		
922		10	患者血液型、保有抗体、抗体スクリーニング結果などの登録が可能なこと。登録情報については履歴管理され、時系列で結果の確認が可能なこと		
923		11	製剤請求依頼時に製剤請求依頼伝票が発行可能なこと		
924		12	製剤出庫登録時に、出庫伝票と、入力した製剤ロット単位のラベルが発行可能なこと		
925		13	自己血の採血スケジュールを管理可能なこと		
926		14	製剤使用確定(実施)時に医事会計伝票が発行可能なこと		
927		15	輸血暦等がオーダーリングシステムにて登録 ・管理が可能なこと		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
			血液製剤(MAP、FFP、PC)の他に血漿分画製剤、アルブミン製剤の使用状況などを、オーダーリング		
928		16	システムにて登録、管理可能なこと		
929		17	文書作成と連動して承諾書の作成が可能なこと		
930		18	オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
931		19	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
932		20	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
933		21	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の輸血オーダーの内容がリアルタイムで参照可能なこと		
934		22	製剤依頼時に血液型検査の実施回数がチェック可能なこと		
935		23	輸血オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
936		24	輸血実施後の経過日数により、患者カルテ起動時にメッセージを表示できること		
	20.栄養指導オーダー	<u> </u>		l	
937		1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
938		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示 内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
939		3	適用保険選択によるオーダーが可能なこと		
940		4	以下の栄養量が入力可能なこと		
941		5	・エネルギー		
942		6	・蛋白		
943		7	・脂肪		
944		8	・塩分		
		9	·糖質		
945			•水分		
946		10	-U>		
947		11	- 熱量構成比		
948		12			
949		13	・脂質構成比		
950		14	·蛋白質 (%)		
951		15	- 炭水化物(%)		
952		16	-脂質 (%)		
953		17	カリウム制限のチェックが可能なこと		
954		18	その他栄養素が自由に入力可能なこと		
955		19	栄養指導のコメントを、フリーもしくは定型文より入力可能なこと		
956		20	栄養量の単位は、マスターより医療機関ごとにに変更可能なこと		
957		21	食事オーダーの食種マスターと連動して栄養量を指定可能なこと		
958		22	患者病名から、指導に必要な病名を指定可能なこと		
959		23	栄養指導依頼箋の発行が可能なこと		
960		24	栄養指導依頼の一覧表示が可能なこと		
961		25	栄養指導依頼の一覧では、患者番号で絞り込みが可能なこと		
962		26	栄養指導依頼の一覧では、予約日で検索が可能なこと		
963		27	予約オーダーと連動して栄養指導のスケジュール管理が可能なこと		
		28	栄養指導の実施入力が可能なこと		
964			実施入力した栄養指導は、医事システムと連携が可能なこと		
965		29	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
966		30	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中の栄養指導オーダーの内容がリア		
967		31	他の編末で同一思看のカルテを同時に開いている際に、双方で人力中の栄養指導オーターの内容がリアルタイムに参照可能なこと		

	T			1	
通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
通0140	1/2/HC	140	19% (Р.C.6+-ИШ	-70	在山
968		32	身長、体重は患者基本情報で登録されている内容を既定表示すること。入力した身長、体重は患者基本情報への反映が可能なこと		
969		33	栄養指導オーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
	21.文書作成オーダー	1			
970	基本機能	1	予め用意した文書テンプレートから、定形書式の文書が作成可能なこと		
971		2	作成文書は、患者カルテ画面にて登録日の確認が可能なこと		
972		3	作成文書はサーバーに保存され、必要に応じてファイル出力可能なこと		
973		4	文書テンプレート毎に、職種別利用権限の設定が可能なこと		
974		5	テンプレート保存領域は、システム共通と利用者個別を持つことが可能なこと		
975		6	文書のテンプレートはシステム共通、利用者個別ごとに一括管理され、どの端末でも同じテンプレートが表		
976		7	示されること システム共通にあるテンプレートは、管理者権限のある職員以外、修正はできないこと		
			オーダー画面で表示されるテンブレートの並び順を設定ファイルにより切り替え可能なこと(文書登録順も		
977		8	しくは、テンプレート文書名での昇順) 作成文書の修正、削除履歴は保存され、過去履歴の文書内容を閲覧、印字可能なこと		
978		9	TF成文者が形に、前原機能は味けてれ、過去機能が入者が含む関係、ロチリ能なこと 既登録文書は、文書作成オーダーのメイン画面を閉じずに連続して閲覧可能なこと		
979		10			
980		11	入院期間を指定することで、指定した期間に作成された文書のみ検索可能なこと		
981		12	患者記録、オーダー記録を閲覧しながら、文書の作成が可能なこと		
982		13	患者に対し継続的に経過を記載したい文書を患者ごとに管理可能なこと		
983		14	文書テンプレート選択時に、下記の項目が、文書内の所定位置に自動反映可能なこと		
984	システム情報	15	·年月日 (西曆/和曆)		
985	患者基本情報	16	·患者ID		
986		17	・漢字氏名		
987		18	・カナ氏名		
			·年齢		
988		19	・生年月日		
989		20			
990		21	-性別		
991		22	・住所		
992		23	・電話番号		
993		24	·身長·体重		
994	紹介患者情報	25	·紹介元病院、紹介者		
995	医師·職員情報	26	・指示医		
996		27	・指示医の科		
			·操作者		
997		28	・患者担当職員		
998	自体的状况	29	・血液型		
999	身体的状況	30			
1000	アレルギー	31	・薬剤アレルギー		
1001		32	・食物アレルギー		
1002	入院情報	33	・入院日		
1003		34	・退院日		
1004		35	・入院病棟		
1005		36	·入院科		
		37	・入院日数		
1006			- 入院時病名		
1007		38	× 1/20=2/13 I-4		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1008	既往歴病名・コメント	39	·既往歷病名		
1009	各種オーダー情報	40	-診断病名		
1010		41	·薬剤名		
1011		42	・検査項目(検査結果)		
1012		43	・画像		
1013		44	·>I-4		
1014		45	・画像オーダー		
1015		46	・食事オーダー		
1016		47	・手術オーダー		
1017		48	・ブリーンメント		
1018		49	オーダー画面を閉じずに、連続して文書の作成が可能なこと		
1019		50	文書作成の進捗管理が行え、記載内容が確定した段階で更新不可にすることが可能なこと		
1020		51	文書確定と同時にPDFの作成が可能なこと		
1021		52	確定前の文書と確定後の文書で、職制単位で参照権限の制御が可能なこと		
1022		53	マスターにより、レポート登録が必要な文書と不必要な文書の管理が可能なこと		
1023		54	作成した文書で、レポート登録が必要な文書は、カルテツリー上に明記され操作者がひと目で確認可能 なこと		
1024		55	文書作成オーダー画面より、操作端末のローカル上に、テンプレート文書のコピーが可能なこと		
1025		56	文書テンプレートは、ファイル単位やフォルダ単位で入れ替えが可能なこと		
1026		57	既登録文書を流用し当日の文書として作成、登録が可能なこと		
1027	C+ 0 . 18 . I W OF (58	オーダー登録時に作成した文書を自動印刷し、オーダー登録漏れや文書の印刷漏れを防止することが可能なこと		
1028	統合レポート機能(PDF管理機能)	1	文書作成にて作成した文書(Word・Excel)をPDFファイルにて管理できること		
1029		2	PDF化する際にキーワードを付与し、自動的に患者別・カテゴリ別に自動仕分けされ管理ができること		
1030		3	スキャナなどで取り込んだイメージファイルをPDF化し管理できること		
1031		4	スキャナなどで取り込む際にバーコードを同時に読み込み、患者別、カテコリ別に自動仕分けされ管理ができること		
1032		5	部門システムからの文書データやイメージデータをPDF変換し患者別、カテゴリ別に管理できること		
1033		6	PDF化したデータに検索用キーワードを付与できること		
1034	22. 明读长途 任本	7	検索用キーワードから該当文書を検索できること。また検索結果をCSVファイルへ出力できること		
1035	22.服薬指導依頼	1	服薬指導依頼画面はカルテ画面から起動可能なこと		
1036		2	服薬指導依頼は、入院基本と連動し入院決定/入院確認時に依頼可能なこと		
1037		3	患者ごとに服薬指導サマリーが表示可能なこと		
1038		4	入院患者一覧に服薬指導依頼の有りを表示可能なこと		
1039		5	指導内容を診療記録に記載可能なこと		
1040		6	カルテ画面を参照しながら服薬指導依頼を入力可能とすること		
	23.慢性疾患管理		外来患者のうち慢性疾患患者を識別可能なこと		
1041		1	慢性疾患患者の来院予定を管理可能なこと		
1042		2	慢性疾患患者のパターンに応じた予定オーダーを設定可能なこと		
1043		3	患者来院時に設定済みの予定オーダーから実オーダー反映可能なこと		
1044	24.指示簿	4			
1045		1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
1046		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示 内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
			円谷はルルナ関風と回寺の肩報を衣示すること		I

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
<u> </u>	17%HC	140	73% (PLG+ + ИШ	70	在山
			医師が入院患者に対する指示を、指示簿として記入可能なこと		
1047		3	外来患者に対して指示入力が可能であること		
1048		4	指示簿には以下の項目が入力可能なこと		
1049		5	・安静度		
1050		6	· * * * * * * * * * * * * * * * * * * 		
1051		7			
1052		8	・バイタル		
1053		9	- その他指示 - 500014 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
1054		10	指示簿には、セットを用いた簡易入力機能を有すること		
1055		11	指示を受けた確認者の名前が表示される、指示受け機能を有すること		
1056		12	指示簿に記入された項目はカルテ画面に表示され、指示内容の未確認、確認済、終了の各状態を判別可能なこと		
1057		13	指示には予めオーダー設定が可能で、指示条件時、操作によりオーダー反映が可能なこと		
1058		14	指示履歴を流用し、新たな指示を登録可能なこと		
1059		15	オーダー反映後、通常オーダーと指示オーダーとの区別が可能なこと		
	25.オーダー通知		オーダー登録、変更、削除の状況を、特定端末にリアルタイムで通知可能なこと		
1060		1	通知対象のオーダーは、処方、検査、画像、食事、入院基本、注射、汎用、文書、リルビリ、手術、輸		
1061		2	血等のオーダー種と入院・外来の組み合わせで可能とすること 適知は画面ボップアップの他に、音により通知されること		
1062		3			
1063		4	通知内容は、一覧表示が可能であり確認指示可能なこと		
1064		5	システムにログインしていなくとも、オーダー登録、変更、削除の状況をリアルタイムで通知可能なこと		
1065		6	一覧から該当オーダーを指示することにより、該当患者のカルテ画面を表示する機能を有すること -		
1066		7	オーダー通知画面からカルテ内容参照を行う時は、専用のログイン画面を表示して直接カルテ起動を可能とすること		
1067		8	オーダー登録、変更、削除の状況確認時、修正前と現状況の内容を表示し、変更箇所を色分けして表示可能なこと		
1068		9	オーダー内容確認時に指示確認も同時に行なえること		
1069		10	通知内容は部署ごとに設定が可能なこと		
1070	26.指示受け		思者に対するオーダー指示等の新規指示、変更指示、削除指示の確認および指示受け機能を有するご		
1070		_	と 以下が指示受けの対象となること。指示受け対象は設定により変更が可能なこと		
1071		2	・処方オーダー		
1072		3	・注射オーダー		
1073		4	·文書オーダー		
1074		5	- X- ローファー - 手術オーダー		
1075		6	・汎用(処置)オーダー		
1076		7	- 沁用(処直) オーター - 輸血オーダー		
1077		8			
1078		9	・検体検査オーダー		
1079		10	・病理オーダー		
1080		11	・画像オーダー		
1081		12	・リハビリ(依頼)オーダー		
1082		13	・予約 (診察予約) オーダー		
1083		14	・食事オーダー		
1084		15	・指示簿		
1085		16	・行動制限管理(その他指示/隔離拘束)		
1086		17	・作業療法オーダー		
			<u> </u>		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1087		18	・デイケアオーダー		
1088		19	・レジメンオーダー		
1089		20	指示受け時の履歴管理ができ、過去の履歴を参照、および印刷可能なこと		
1090		21	指示受け後に指示の修正があった場合、前回と今回の指示内容を同一画面で確認可能なこと。変更 箇所は色分けして表示可能なこと		
1091		22	指示変更の確認をする場合に、対象を一覧で確認可能なこと(指示受け一覧)		
1092		23	指示受け一覧では、任意の情報情報でソートが可能なこと		
1093		24	指示受け一覧では、新規指示、修正指示、削除指示ごとのステータスにより、行および文字の色を設定 可能なこと		
1094		25	指示確認を行う職種を設定可能なこと		
1095		26	リーダー指示受け/担当者指示受けや、2名の看護師による指示受けなどのダブルチェック機能を有する こと		
1096		27	オーダー通知機能と連動し、指示変更が発生した通知が可能なこと		
1097		28	指示受けの対象とするオーダー診療科を設定可能なこと		
1098		29	病床一覧から起動した場合、緊急性の高いオーダーを絞り込み可能なこと。		
1000	27.その他オーダー機能	1	患者の退院時、未来日のオーダーを一括削除(中止)可能なこと		
1099		2	─括削除時はログを出力し後で削除オーダーの確認が可能なこと。また、帳票出力も可能なこと		
1100		3	複数患者に対して、「処方オーダー」「検体検査オーダー」「汎用オーダー」「診療記録(テキスト)」の一		
			括登録や一括Doが可能なこと。対象患者の検索および選択は、容易に可能なこと 一括登録時に発生したエラー、警告はログを出力し、後で内容が確認が可能なこと。また、帳票出力も		
1102	28.部門システム連携	4	可能なこと		
1103		1	カルテ画面からPACS(ビューア)を起動し、その患者の画像リストおよびDICOM画像を表示可能なこと		
1104		2	検査、調剤、給食、リハビリなど、様々なメーカーの様々な部門システムと接続実績を有すること		
1105		3	診察予約、各検査予約、リハビリ予約、看護ケアといった患者をとりまく、診療に関わる各予定を一元管 理可能なこと		
1106		4	インターネットエクスプローラで表示可能なビューアを、カルテと一体で動作させることが可能なこと		
1107		5	検査システムより、MRSA細菌検査結果が陽性の場合、患者基本情報の感染症情報が自動更新されること		
1108		6	部門システムより送信された、音声ファイルや動画ファイルなどのマルチメディアファイルを表示可能なこと		
1109		7	部門システムより送信された、EXE情報やURL情報のハイパーリンクの表示が可能なこと		
	29.クリティカルパス				
1110	基本機能	1	入院、外来ともにクリティカルパスが設定可能なこと。また、外来→入院や入院→外来と、入外が連動したクリティカルパスを作成可能なこと		
1111		2	かリティカルパス名称登録で入外、日数、有効開始日、終了日を設定で入外、日数、有効開始日、終 了日を設定可能なこと		
1112		3	クリティカルパス内容は、治療を段階別(ステップ)に分ける機能を有すること		
1113		4	術前、術後など、一日のうちで治療経過により段階別(ステップ)に分ける機能を有すること		
1114		5	クリティカルパスに登録されているオーダー指示やケア項目は、段階ごとでカルテ反映が可能なこと		
1115		6	クリティカルバスの段階ごとに登録されている治療計画(ユニット)を状況により切り替える機能を有すること		
1116		7	クリティカルパスの進行状態が分かるように、段階や治療計画の進行状態を画面上にイメージで表示されていること		
1117		8	クリティカルバス画面とカルテ画面が同時に参照可能なこと		
1118		9	入院日が決定していない患者に対しても、患者へのクリティカルバスの登録は可能とすること。ただし、オー ダー展開は、入院日が決まった後で展開可能なこと		
1119		10	同一期間に複数のクリティカルパスが設定可能なこと		
1120		11	クリティカルバス画面では以下の内容が表示可能なこと		
1121		12	・オーダー内容		
1122		13	·97.79		
1123		14	・アウトカム		
1124		15	・パリアンス		
1125		16	·看護計画		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1126		17	·看護記録		
1127		18	·観察項目		
1128		19	·経過一覧		
1129		20	クリティカルパスマスターには、以下のオーダー種が登録可能なこと		
1130		21	-処方		
1131		22	·検査		
1132		23	·画像		
1133		24	・注射		
1134		25	·汎用		
1135		26	・食事		
1136		27	・文書作成		
1137		28	・病理		
1138		29	・リハ依頼		
1138		30	・手術依頼		
1140		31	-病名		
			・デイケアオーダー・作業療法オーダー		
1141		32	・作業療法オーダー		
1142		33	クリティカルバス情報の世代管理が可能なこと		
1143		34	患者にクリティカルバスを適用した時に、バスマスター登録された病名の候補から選択して患者へ適用する		
1144		35	可能なこと 患者が退院した時に、ケリティカルバスを自動終了する機能を有すること		
1145		36	上記内容はボタンにより全画面、分割表示が可能なこと		
1146		37	オーダー反映後、オーダー画面にて通常オーダーとクリティカルパスの区別が可能なこと		
1147		38			
1148		39	パリアンスによる変更が可能なこと		
1149		40	クリティカルバス画面/日めくり画面/カルテ画面を切り替えて表示することが可能なこと。別ウィンドウとして同時参照が可能なこと		
1150		41	クリティカルバス/日かり画面/カルテ画面の各画面で入力したオーター情報は、リアルタイムで各画面に反映されていること		
1151		42	グリティカルバス画面で通常のオーダーが可能であること		
1152		43	グリティカルバス画面で記録等が入力可能であること		
1153		44	アウトカムを設定可能なこと		
1154		45	設定したアウトカムに対して評価入力が可能であること		
1155		46	タスクを設定可能なこと		
1156		47	設定したタスクに対して確認入力が可能であること		
1157		48	確認対象となる職種を設定可能なこと		
1158		49	本日実施する項目を、日めくり画面として1画面内にまとめて表示する機能を有すること		
1159		50	日めくり画面には、以下の情報が表示されること		
1160		51	・当日記載された診療記録		
1161		52	・当日記載された看護記録		
1162		53	・当日測定した測定値を時系列で表示		
1163		54	・当日実施するオーダー情報。画面上からオーダー情報の修正、実施、削除等の操作が可能なこと		
1164		55	・当日実施するケア項目		
1165		56	・現在対象の看護計画		
1166		57	・現在対象の指示簿情報		
		<u> </u>	İ	I	l

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1167		58	・クリティカルバスのタスク情報		
1168		59	・アウトカム情報を登録、表示可能なこと		
1169		60	・パリアンス情報を登録、表示可能なこと		
1170		61	日めくり画面は、クリティカルバス適用患者以外でも表示可能なこと		
1171		62	日めくり画面に表示する項目は、操作者ごとに変更を可能とし保存可能なこと。また複数のパターンも登録可能なこと		
1172		63	クリティカルバスを提供している患者一覧を表示可能なこと。またクリティカルバスの進行状態が段階で分かるような表記になっていること		
1173		64	一括ステップ適用画面から一括でオーダーの適用が可能なこと		
1174		65	一括ステップ適用画面から登録されたオーダーでエラー、警告が発生したオーダーの情報はログで表示し、 印刷も可能なこと		
1175		66	入院のクリティカルバスの場合以下の項目から検索が可能なこと		
1176		67	-病棟		
1177		68	-科		
1178		69	・主治医		
1179		70	·担当看護師		
1180		71	・適用クリティカルバス		
1181		72	外来バスの場合以下の項目から検索が可能なこと		
1182		73	-科		
1183		74	·指示医		
1184		75	・適用クリティカルバス		
1185		76	クリティカルバス期間中に日数を指定して挿入が可能なこと		
1186		77	クリティカルバス説明用シートの印刷がリティカルバス説明用シートの印刷が可能なこと		
1187		78	クリティカルバス適用患者は、カルテ画面の患者バネルにアイコンを表示し一目で確認可能なこと		
1188		79	クリティカルバス適用患者のカルテを開いた際、クリティカルバスの画面が自動起動され、即座に内容を確認可能なこと		
1189		80	基本アウトカムマスター(BOM)を取り込み、使用可能なこと。		
1190	クリティカルパス統計	1	グリティカルパスにおいて、以下の統計がとれること		
1191		2	・クリティカルパスごとの適用件数の集計		
1192		3	・クリティカルパスごとのアウトカム達成率の集計		
1193		4	・パリアンスが発生しているクリティカルパスの集計		
1194		5	クリティカルパスの統計は、患者別、クリティカルパス別を指定して抽出可能なこと		
1195		6	クリティカルバス一覧から、統計をとりたいクリティカルバスを指定可能なこと。また、世代番号が古いクリティカルバスも抽出可能なこと		
1196		7	統計を取る際、以下の検索条件で絞り込みが可能なこと		
1197		8	•入外区分		
1198		9	・クリティカルバス開始期間		
1199		10	クリティカルバス開始期間を指定しない場合、全期間で統計をとれること		
1200		11	パリアンス発生一覧では、一覧からパリアンスの詳細情報を確認可能なこと		
1201		12	抽出した情報は、Excelに出力可能なこと		
	30.一括オーダー		─括オーダー画面には前回処方日、前回検査日、前回汎用オーダー日、前回画像生理検査日、主治		
1202		1	医、担当医、入院状態の特記事項が表示されていること 一括オーダーでは以下のオーダーの情報が登録可能なこと		
1203		2	101ーテーには外下のパーテーの同報の登録や可能が全に ・処方オーダー		
1204		3	・検査オ−ダ−		
1205		4	・汎用オーヴー		
1206		5	יבושי /		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1207		6	・画像オーダー		
1207		7	·診察記録 (フリー定型句)		
1209		8	病棟、診療科を指定して、入院患者から患者選択にて、セットから一括オーダーが可能なこと		
1210		9	日付、診療科、予約科目を指定して、外来患者から患者選択にて、セットから一括オーダーが可能なこと		
1211		10	任意のまとめ(コミュニケーションフォルダー)られた患者一覧で、セットから一括オーダーが可能なこと		
1211		11	─括オーダーによる絞込みは、病棟、予約診療科、任意のまとめ(コミュニケーションフォルダー)、担当		
1212		12	思者などが可能なこと 一覧形式による思者選択にて、一括Doが可能なこと		
1214		13	一括Doは、処方オーダー、検査オーダー、汎用オーダー、画像オーダーが可能なこと		
1214		14	一括Doによる絞込みは、病棟、予約診療科、任意のまとめ(コミュニケーションフォルダー)、担当患者		
1213		15	などが可能なこと 一括オーダー操作のログを採取していること		
1217			ログには以下の内容が保存され参照できること。必要に応じて印刷が可能なこと		
		16	・操作日		
1218		17	·操作内容		
1219		19	・操作端末		
1221		20	·操作者		
1222			- 対象患者		
		21	・オーダー区分		
1223		22	- 結果		
1224		23	・メッセージなど		
1225	31.生活歴 ·病歷管理	24			
1226	31.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	1	生活歴、病歴画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
1227		2	別ウィンドウ表示した場合は、生活歴、病歴管理画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
1228		3	生活歴および現病歴が管理可能なこと		
1229		4	・年齢、年代の表形式による生活歴/現病歴イベント表示が可能なこと		
1230		5	・一覧形式による生活歴/現病歴イベント表示が可能なこと		
1231		6	・フリー形式で入力された生活歴/現病歴を文書作成へ反映可能なこと		
1232		7	・入力履歴を管理可能なこと		
1233		8	・診療記録の履歴を確認可能なこと。参照する履歴日数は設定により自由に変更可能なこと		
1234		9	・個人歴、患者概要(生活歴、現病歴フリー入力領域)、診察内容(診察歴)の表示領域は、ワンクリックで表示/非表示が可能なこと。また操作者単位で次回起動時に引き継げること		
1235		10	履歴印刷(カルテ印刷)が可能なこと		
	32.ジェノグラム管理		ジェノグラム管理が可能なこと	I	
1236		1	・イメージによるジェノグラム管理が可能なこと		
1237		2	・テンプレートによるジェノグラム作成が可能なこと		
1238		3	・ドラック&ドロップ操作による描画が可能なこと		
1239		4	・ドフック & ドレッノ探作による垣間かり 形なこと ・ジェノグラムへのコメント付けが可能なこと		
1240		5	・記載済みのジェノグラム記号について簡易に修正、移動、削除が可能なこと		
1241		6	・ 記載が用ののジェブソンALについて間分に形正、や動が、削除が凹まれること ・ 履歴管理が可能なこと		
1242		7	・機能管理が可能なこと イメージのジェノグラムを文書作成へ反映可能なこと		
1243		8			
1244	2.2 公二系九生川(FP)年17日	9	履歴印刷(カルテ印刷)が可能なこと		
1245	33.行動制限管理	1	行動制限画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
<u> </u>					

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1246		2	別ウィンドウ表示した場合は、行動制限画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
1247		3	行動制限管理が可能なこと		
1248		4	・患者の行動制限指示が可能なこと		
1249		5	・患者の行動制限実施管理が可能なこと		
1250		6	・隔離、拘束指示が可能なこと		
1251		7	・隔離、拘束指示入力の際、入力者が精神科指定医なのかチェックがかかること		
1252		8	・精神科指定医以外が隔離、拘束指示を出す場合、12時間を超えないようチェックがかかること		
1253		9	・行動制限指示の所見入力が可能なこと。入力の負担を軽減するため、定型文から入力が可能なこ		
1254		10	と。 定型文は操作者が自由に作成可能なこと ・行動制限指示の所見入力の手間を軽減可能なよう、 直近の所見内容をワンクリックで流用可能なこ		
1255		11	・行動制限指示の登録時に、指示内容を診療記録欄へ自動転記可能なこと		
1256		12	・隔離、拘束の実施管理(観察チェック)が可能なこと		
1257		13	・行動制限指示が出されている患者の一覧画面があること。この一覧は、医療機関全体、病棟ごとの		
1258		14	表示を簡単に切り替えることが可能なこと ・患者ごとで、隔離、拘束指示を、時系列で確認可能なこと。患者の状況によっては、指示内容と異な		
1259		15	る対応が行われるが、その場合、自動で色を変え指示内容と異なった対応を実施したことが一目で確認 ・行動制限実施(観察チェック)所見を入力可能なこと。また、未入力チェックがされること。チェックのエ		
1260		16	ラーレベルは医療機関ごとで設定可能なこと ・行動制限実施(観察チェック)は、入力の負担を軽減するため複数の患者を選択し、一括で観察		
1261		17	チェック登録が可能なこと ・行動制限実施(観察チェック)所見を入力する際、入力の手間を軽減可能なよう、定型文から入		
1262		18	力が可能なこと。定型文は、あらかじめ操作者が自由に作成可能なこと ・行動制限実施(観察チェック)の実施者、実施記録の有無が確認可能なこと		
1263		19	・退院指示を入力した際、行動制限指示終了の有無のチェックがかかること。チェックのエラーレベルは医		
			療機関ごとで設定可能なこと ・転棟、転科、外出、外泊を入力した際、行動制限指示終了の有無のチェックがかかること。チェックの		
1264		20	エラーレベルは医療機関ごとで設定可能なこと ・継続指示が可能なこと		
1265		21	・履歴管理が可能なこと		
1266		22	・患者単位あるいは病棟一括での観察チェック登録が可能なこと		
1267		23	・電話制限や面会制限など任意のその他指示管理が可能なこと		
1268		24	履歴印刷(カルテ印刷)が可能なこと		
1269		25	行動制限に関する情報をCSV出力し、情報の2次利用が可能なこと(台帳作成等)		
1270		26	行動制限に関する情報をEXCEL出力し、情報の2次利用が可能なこと(台帳作成等)		
1271		27	カルテ画面を参照しながら、行動制限指示が出せること		
1272		28	入院患者一覧にて患者の隔離、拘束指示の有無、日数が把握可能なこと		
1273		29	「		
1274	24 ものいか せい・	30	物限に19不1日小ツのふぶ日はJMV 岡田工に71コンル・女小で41 日 C1U注り用じるCC		
1275	34.カウンターサイン	1	研修医が入力した記事に対して指導医が確認を行う為、以下の機能を実装していること		
1276		2	・研修医による指導医登録機能		
1277		3	・研修医からの記事内容の確認依頼機能		
1278		4	・指導医の確認機能		
1279		5	・指導医からの差し戻し機能		
1280		6	・研修医/指導医の記録履歴の参照機能		
1281		7	夜間救急担当した際に記載した内容は、救急の担当医に対して確認依頼を出せること		
1282		8	カルテ印刷機能で印刷が可能なこと		
1283		9	研修医が記載した記事について、一括で承認、差し戻しが可能なこと		
	35.督促チェック	<u> </u>			
1284		1	入院・イベントにおける督促チェックが可能なこと		
1285		2	・入院後、一定期間が経過し、未作成文書などが存在する場合に督促が可能なこと		

超数						
1286 3						
1286 3 - 川田市後、一定期除が経過し、未作成文章など存在する場合に側位が可能などと	AL No	操作	No	総体セ≡★・6冊	司本	理由
1287 1	UNIO EL	1886	INO	70菜丹七市十市田	10	在田
1287 1						
1288 1 1288 1 1288 1 1288 1 1288 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1289 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1286		3	・退院後、一定期間が経過し、未作成文書などが存在する場合に督促が可能なこと		
1288 5 1974年に、最初費者に関する信仰有限。別報会にと 1290 7 工期間(日政府記)でとに同じ信仰チャックを認か起して行えること 8 信仰を指し、当然費者に関する信仰を担いて行えること 1291 8 1292 1 1292 1 1292 1 1293 2 1 1294 3 1757 シンと開放(日本の主)とステム1974 と同かでと報が関心とと 1293 2 1 1294 3 1757 シンと関係とし、対力が大事会でも、全ても一覧形式で確認可能なこと 1295 4 1757 シンと関係とし、対力が大事会でも、全ても一覧形式で確認可能なこと 1295 4 1757 シンと関係は、実践が大事会でも、全ても一覧形式で確認可能なこと 1296 5 1757 シンと関係は、実践が大事会でも、全ても一覧形式で確認可能なこと 1297 6 1757 シンと関係は、実践が大事会でも、全ても一覧形式でを認め可能なこと 1297 6 1757 シンと関係は、対力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力が大力	1287		4			
1299 7 世期間 (日数節定) ごとに利に選促子197を繰り返して行えること 1291 8 1292 1 1292 1 1297 1291 1292 1 1297 1291 1292 1 1297 1292 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1293 1 1297 1298 1 1297 1 1298 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299 1 1299	1288		5			
1291 8 超段有無性	1289		6	カルテを開いた時に、当該患者に関する督促有無が照会可能なこと		
1292 1 ログイ本が確認しなければならい。中原を、一覧表示可能なこと	1290		7	一定期間(日数指定)ごとに同じ督促チェックを繰り返しで行えること		
1292 1	1291		8			
1293 2		36.ナビゲーション			1	
1294 3	1292		1	ログイン者が確認しなければならない事項を、一覧表示可能なこと		
1295 4	1293		2	一人の患者に複数の確認事項があった場合でも、全てを一覧形式で確認可能なこと		
1296 5	1294		3	ナビゲーション画面は、システムログイン時にログイン者の判断で起動可能なこと		
1297 6	1295		4	ナビゲーション画面は、カルテ起動時に自動起動されること		
1298 ファングーション画面は、クリティカルバス、メディカルシートから起動可能なと 1299 8 形名程々に関する承認、確認の一覧を表示可能なこと 1300 9 確認依頼、文書台位など区分ごとで文字色が変更されること 1301 10 任意に設定した確認依頼期限、首促期限が近いか図は自動的に背景色が変更されること 1302 11 以下のオーダーを指示した際、マスターの設定により自動的にナビグーション画面へ特定の確認か容を表示可能なこと 2人院決定 1304 13 ・ 2人院建定 1304 13 ・ 2人院建定 1305 14 ・ 連続策定 1306 15 ・ 連続確認 1307 16 ・ 転相 1307 16 ・ 転相 1309 18 ・ 均東 1310 19 ・ 「隔離 1310 19 ・ 「隔離 1311 20 ナビゲーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと 1312 21 ・文書部位データ 1313 22 ・ ブリー音像データ 1314 23 ・確認依頼データ 1314 23 ・確認依頼データ 1まま形でニタ	1296		5	ナビゲーション画面は、機能ボタンより起動可能なこと		
1299 8 思春個々に関する承認、確認の一覧を表示可能なと 1300 9 確認依頼、文書音優など区分ごとで文字色が変更されること 1301 10 任意に設定した確認依頼期限、督促期限が近い内容は自動的に背景色が変更されること 1302 11 以下のオーターを指示した際、マスターの設定により自動的にナビゲーション画面へ特定の確認内容を表示可能なこと 1303 12 ・入院決定 1304 13 ・入院発起 1305 14 ・退院予定 1305 14 ・退院予定 1306 15 ・追院確認 1307 16 ・転料 1308 17 ・入院形態変更 1309 18 ・・持身末 1310 19 ・「隔離 1310 19 ・「隔離 1311 20 オビグーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと 1312 21 ・文書館促データ 1313 22 ・ブリー首促データ 1314 23 ・確認を成項データ 1314 23 ・確認を依頼データ 1314 23 ・確認を依頼データ 1314 1316 1317 1317 1318 1318 1318 1319 1319 1311 1310 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311 1311	1297		6	ナビゲーション画面は、患者一覧の右グリックメニューより起動可能なこと		
1300 9 確認依頼、文書督促など区分ごとで文字色が変更されること 1301 10 任意に設定した確認依頼期限、督促期限が近い内容は自動的に背景色が変更されること 1302 11 以下のオーダーを指示した際、マスターの設定により自動的にナビゲーション画面へ特定の確認内容を表示可能なこと 1303 12 12 1304 13 13 14 13 14 15 15 15 15 15 15 15	1298		7	ナビゲーション画面は、クリティカルバス、メディカルシートからも起動可能なこと		
1300 韓認依頼、文書信促など区分ごとで文字色が変更されること 1301 10 任態に設定した確認依頼期限、音促期限が近い内容は自動的に背景色が変更されること 11 以下のオーダーを指示した際、マスターの設定により自動的にナビゲーション画面へ特定の確認内容を表示可能なこと 1303 12 ・入院改定 1304 13 ・入院政定 1305 14 ・退院子定 1306 15 ・退院確認 1306 15 ・退院確認 1307 16 ・転科 1308 17 ・入院秘密変更 1309 18 ・均束 1310 19 ・帰離 1311 20 ナビゲーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと 1312 21 ・文書音促データ 1313 22 ・ブリー部促データ 1314 23 ・確認が第一夕 1314 23 ・確認が第一夕 1314 1314 1316 1317 1317 1318 1319 1314 1316 1317 1318 1319 1319 1314 1319 1314 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 13	1299		8	患者個々に関する承認、確認の一覧を表示可能なこと		
1301 10 任意に設定した確認依頼期限、督促期限が近い内容は自動的に背景色が変更されること			9	確認依頼、文書督促など区分ごとで文字色が変更されること		
11 以下のオーターを指示した際、マスターの設定により自動的にナビケーション画面へ特定の確認内容を表示可能なこと 1303 12 12 1304 13 13 14 1305 14 1306 15 1306 15 1306 15 1307 16 16 15 1308 17 17 17 17 17 17 17 1				任意に設定した確認依頼期限、督促期限が近い内容は自動的に背景色が変更されること		
1303 12 ・入院決定 ・入院決定 ・入院確認 1305 14 ・退院予定 1306 15 ・退院確認 1307 16 ・転科 1308 17 ・入院形態変更 1309 18 ・均束 1310 19 ・隔離 1311 20 ・大ピケーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと 1312 21 ・文書留促データ 1314 23 ・確認依頼データ 1314 23 ・確認依頼データ 1314 23 ・確認依頼データ 1314 1316 1317 1317 1318 1319 1319 1319 1319 1319 1311 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 13				以下のオーダーを指示した際、マスターの設定により自動的にナビゲーション画面へ特定の確認内容を表		
1305						
1305	1303					
1305	1304		13			
1306	1305		14			
1307 16 17 ・入院形態変更 1309 18 ・拘束 1310 19 ・隔離 1311 20 サビケーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと 1312 21 ・文書督促データ 1313 22 ・プリー督促データ 1314 23 ・確認依頼データ 1314 23 ・確認依頼データ 1314 23 ・本本数データ 1315 1316 1317 1318 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1319 1	1306		15			
1308	1307		16			
1310	1308		17	・入院形態変更		
1310	1309		18	- 拘束		
1311 20	1310		19	・隔離		
1312 21 1313 22 ・プリー督促データ 1314 23 ・確認依頼データ ・本承認データ	1311		20	ナビゲーション画面では、以下の情報に関する一覧表示が可能なこと		
1313 22 1314 23 ・確認依頼データ ・本承担データ	1312		21	・文書督促データ		
1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314 23 . ** 1314	1313		22	・フリー督促データ		
1315 24 ・未承認データ	1314		23	・確認依頼データ		
			24	・未承認データ		
1316 25 文書督促はカルテ画面、クリティカルパス、メディカルシートにて該当する文書を作成することで、自動的に						
雑誌済みに可能なこと 1317 26 ナビゲーション画面のフォントの変更、表示項目をログイン者ごとに自由に設定可能なこと。設定した内容				ナビゲーション画面のフォントの変更、表示項目をログイン者ごとに自由に設定可能なこと。設定した内容		
1317 20 はログイン者の規定値として管理可能なこと 1318 27 一覧は以下の項目で、絞込み表示可能なこと 27						
				-科		
1319 28						
1320 29						
1321 30						
1322 31	1322		31			
1222 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227 1227	1323		32			
1323 32				・乂書名	Ī.	
1324 33 ·文書名 1324 33 ·文書名 24 ·承認/未承認	1324		33			

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1326		35	期間		
1327		36	·確認者		
1328		37	絞込み条件は、ログイン者が「お気に入り」として保存でき、いつでも使用可能なこと		
1329		38	一覧の並び替えは、ログイン者ごとで3つのソートキーを設定可能なこと		
1330		39	一覧は項目ごとに昇順、降順にてソート可能なこと		
1331		40	一覧は、他科、他職員の内容も表示可能なこと		
1332		41	スタッフ、担当者が、以下に記載するデータに対し内容の確認依頼を登録可能なこと		
1333		42	・文書作成オーダー		
1334		43	-診療記事		
1335		44	・処方オーダー		
1336		45	・注射オーダー		
1337		46	・レジメンオーダー		
1338		47	・汎用オーダー		
1339		48	・手術オーダー		
1340		49	輸血オーダー		
1341		50	・検体検査オーダー		
1342		51	・病理オーダー		
1343		52	・画像オーダー		
1344		53	・リハビリオーダー		
1345		54	・デイケアオーダー		
1346		55	・作業療法オーダー		
1347		56	・食事オーダー		
1348		57	確認依頼は、クリティカルパスからも登録可能なこと		
1349		58	文書督促の確認処理の為、一覧画面より文書作成オーダーの起動が可能なこと。起動はタグ情報の任 意選択とタグ情報の自動選択の2パターンを使用者が選択可能なこと		
1350		59	代行入力されたオーダーは、指示医に対し自動で承認依頼が出せること		
1351		60	未承認データを一覧表示可能なこと		
1352		61	未承認データの内容を一覧上で確認でき、カルテを開かなくても承認操作を行えること		
1353		62	記載した診療記事の確認依頼が出せること		
1354		63	診療記録の確認依賴は、指示医をワンクリックで選択可能なこと		
1355		64	一覧上から、対象患者のカルテを開くことが可能なこと		
1356		65	入院イベントにおける督促チェックが可能なこと		
1357		66	・入院後、一定期間が経過し、未作成文書などが存在する場合に督促が可能なこと		
1358		67	・退院後、一定期間が経過し、未作成文書などが存在する場合に督促が可能なこと		
1359		68	・入院、転棟、転室、退院などの入院イベント発生後、一定期間が経過した場合、任意(フリー文 言)の督促が可能なこと		
1360		69	・精神科に関する、隔離開始、隔離継続、隔離終了、拘束開始、拘束継続、拘束終了に関しても、 督促が可能なこと		
1361		70	ログイン時に、督促有無が照会可能なこと		
1362		71	カルテを開いた時に、当該患者に関する督促有無が照会可能なこと		
1363		72	一定期間(日数指定)ごとに同じ督促チェックを繰り返しで行えること		
1364		73	督促有無を随時一覧形式で照会可能なこと。繰り返し督促においては、背景色を変更し識別が可能なこと		
1365		74	ナビゲーションの検索条件は、職制により自由に設定、追加可能なこと		
1366		75	ナビゲーションの検索条件は、医療機関でデフォルトの内容を設定可能なこと		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1367		76	ナビゲーションの検索条件は、操作者の任意で複数設定可能なこと。複数設定した場合は、タブで簡単		
1368		77	に切替えが可能なこと ナビゲーション画面起動時は、前回開いていたタブが初期表示されること。初期表示するタブは設定で切		
1369		78	り替え可能なこと タブを切り替えるたびに、最新の情報に更新されること		
1370		79	レポート結果が通知可能なこと		
1371		80	薬切れが通知されること		
13/1	37.カンファレンスビューアー	00			
1372		1	カンファレンスビューアー機能が搭載されていること		
1373		2	患者カルテを開くと同時に、カンファレンスビューアーが自動起動可能なこと。自動起動は操作者の任意で 設定可能なこと		
1374		3	カンファレンスピューアーでは以下の情報を一画面で確認可能なこと		
1375		4	・患者基本情報		
1376		5	・カルテ情報		
1377		6	・個人歴		
1378		7	・生活歴および現病歴		
1379		8	診察記録は以下の表示条件を指定することで絞り込むことができ、カンファレンスが行いやすいよう、目的 の情報を素早く表示可能なこと		
1380		9	・表示期間は入外期間の指定、任意での期間指定、全期間表示から選択可能なこと		
1381		10	・診療記事情報は全ての記録、自記録、職制を指定、また表題、区分を指定して表示可能なこと		
1382		11	・オーダー情報は、全科、自科、オーダー種から選択可能なこと		
1383		12	診療記録の表示条件は、任意で表示/非表示が可能なこと		
1384		13	指定した2つの期間の外来診療内容を表示可能なこと		
1385		14	指定した2つの期間の入院時診療内容を表示可能なこと		
1386		15	ジェノグラム登録画面を起動可能なこと		
1387		16	検査結果照会画面を起動可能なこと		
1388		17	画像ビューアーを起動可能なこと		
1389		18	行動制限管理画面を起動可能なこと		
1390		19	薬歴照会画面を起動可能なこと		
1391		20	表示内容を印刷可能なこと		
1391		21	診療情報をワンクリックでクリップボードにコピー可能なこと		
		22	診察内容、患者基本、生活歴・病歴管理はそれぞれ切り離して単独画面で確認可能なこと		
1393			生活歴、病歴管理の個人歴、生活歴および現病歴はそれぞれ切り離して単独画面で確認可能なこと		
1394	38.医療福祉相談	23			
1395	患者一覧	1	医療福祉相談の登録が可能なこと		
1396		2	登録されている医療福祉相談の患者一覧画面が用意されていること		
1397		3	患者一覧では、以下の条件で患者の絞り込みが可能なこと		
1398		4	•表示期間		
1399		5	・患者番号		
1400		6	・カナ氏名		
1401		7	-漢字氏名		
1402		8	-性别		
1403		9	·対応者		
1404		10	・作成区分		
1405		11	·相談種別		
1406		12	- 待機区分		
1400		12			

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1407		13	·相談内容区分		
1407			医療福祉相談の新規登録、修正、削除が可能なこと		
			医療福祉相談の患者一覧は、Excel出力が可能なこと		
1409		15	医療福祉相談の患者一覧より、患者を指定して相談内容の詳細を確認可能なこと		
1410		16	医療福祉相談の患者一覧の項目は、操作者の使い易いように並べ替えが可能なこと。並び替えた結果		
1411	新規登録	17	は規定値として記憶可能なこと相談者本人の情報を登録可能なこと。電子カルテ上に患者登録されている場合、患者基本情報が自		
1412	利乃克亞跡	1	動で反映されること		
1413		2	相談者が患者本人以外の場合、相談者の情報を登録可能なこと		
1414		3	相談者が患者本人の場合、以下の項目が登録可能なこと		
1415		4	・患者番号		
1416		5	-性別		
1417		6	・カナ氏名		
1418		7	•漢字氏名		
1419		8	・生年月日		
1420		9	·年齢		
1421		10	·相談曰		
1422		11	・相談時間		
			・郵便番号		
1423		12	·電話番号		
1424		13	·住所		
1425		14	·保険情報		
1426		15			
1427		16	・主治医		
1428		17	·通院歴		
1429		18	・最終受診(退院)日		
1430		19	•作成区分		
1431		20	相談者が患者本人以外の場合、以下の情報も登録可能なこと		
1432		21	·氏名		
1433		22	-性別		
1434		23	・所属機関		
1435		24	·続柄		
1436		25	・住所		
1437		26	・電話番号		
			電子カルテ上に患者登録されていない患者の登録が可能なこと。その際は、ダミー番号を自動で発行す		
1438		27	ること 医療福祉相談内容は、以下のパターンの内容が登録可能なこと。それらは9ブで容易に切替え可能なこ		
1439		28	と ・入院患者についての相談		
1440		29	- 電話での相談		
1441		30			
1442		31	・来所者からの相談		
1443		32	・児童に関する相談		
1444		33	入院患者の相談については、相談内容を登録可能なこと。登録内容は以下について登録可能なこと		
1445		34	・主たる病名		
1446		35	・従たる病名		
1447		36	・合併		

1448	通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1449 35 特部区	1448		37	・身体状況		
1450 39 7月3一月 1451 40 2月3年期 1453 40 2月3年期 1453 41 2月3年期 1453 42 2月3日 1453 42 2月3日 1453 43 2月3日 1453 44 2月3日 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453 1453				・保健室		
1451 40 一般美術 (四巻年)の丁馨				・アルコール		
1452	1451			・違法薬物		
1453 42 小田香 1454 43 小田香町 (日付・時間・場件帯をフンケックで挿入可能なこと) 1455 44 入品等の印鑑ないでは、居外東部の「寄客物類が放は下について音類可能な 2 2 2 2 2 2 2 2 2			41	・保護者(同意者)の了解		
1454 43 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				・関係		
1455 44 人間影響の相談に入れては、原内は極の内容を登録可能など、登飾内容は以下について登録可能など 1456 45 288次度報告 1457 46 288次度報告 1458 47 157世分 48 288次度報告 1458 47 157世分 48 288次度報告 1459 48 288次度 (日付・指摘・操作者をクンサックで導入可能などと) 1460 49 288次度 (日付・指摘・操作者をクンサックで導入可能などと) 1461 50 188次度 (日付・指摘・操作者をクンサックで導入可能などと) 1462 51 147人の原形区 (日付・指摘・操作者をクンサックで導入可能などと) 1463 52 188次度 (日付・指摘・操作者をクンサックで導入可能などと) 1465 53 288次度接合 1466 55 288次度接合 1466 55 288次度接合 1466 55 288次度接合 1466 55 288次度接合 1466 57 288次度接合 1468 57 288次度接合 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469 1469	1454			・相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと)		
1456 45 連続大阪原名 46 連続大阪原名 47 転配の分 48 で表のの分 48 で表のの分 48 で表のの分 48 で表のの分 48 で表ののの 48 で表ののの 48 で表のののの 48 49 48 48 48 48 48 48	1455		44			
1458	1456		45			
1458 47 ・毛崎医分 48 連絡内容 (日付・時間・操作者をリングルクで得入可能なこと) 1460 49 乗越での相談については、相談内容について登録可能なこと 登録内容は下記について登録可能なこと 1461 50 ・相談内容に分 ・ 本人の意報区分 ・ 本人の意報区分 ・ 本人の意報区分 ・ 本人の意報区分 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1457		46	・連絡先病棟		
1459 48 連絡内容 (日付・時間・操作者を2)クリックで挿入可能なこと 1460 49 報話での相談については、相談内容について登録可能なこと 1461 50 4日記内容区分 1462 51 1463 52 4日記内容区分 1463 52 4日記内容区分 1464 53 24日記内容区分 1464 53 24日記内容区分 1465 54 24記先所を 1466 55 24 24記先所を 1466 55 24 24記先所を 1467 56 18助内容区分 1468 57 248内容区分 1468 57 248内容区分 1469 58 24月内容区分 1470 50 41月内容区分 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470 1470	1458		47	- 転帰区分		
1461 50				・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと)		
1461 50 - 相談小商区分 1462 51 - 本人の展題区分 1463 52 - 相談小商(日付 - 時間 - 現作者をワンクリックで挿入可能なこと 1464 53 電話での相談については、援助小商について登録可能なこと 登録可能なこと 1465 54 - 連絡光度線を 1466 55 - 連絡光度線を 1466 55 - 連絡光度線を 1466 55 - 連絡光度線を 1466 55 - 連絡光度線を 1467 56 - 推動小商区 (電話での相談については、相談内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと		
1462 51 -本人の疾患区分 1463 52 - 相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1464 53 電話での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと 1465 54 - 速域先返降名 1466 55 - 速域先演隊 1466 55 - 速域先演隊 1467 56 - 速域内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1468 57 - 速域内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1469 58 米所での相談については、相談内容について登録可能なこと 259 - 相談内容(分 - 148以内容(ク - 148以内容)(ク - 148以内容(ク - 148以内容)(ク - 148以内容)() - 14				・相談内容区分		
1463 52 相談内容 (日付・時間・操作者をフクリックで押入可能なこと) 1464 53 電話での相談については、提助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと 1465 1466 55 連絡光原酵名 1466 55 連絡光原酵名 1467 56 援助内容区分 1468 57 連絡内容 (日付・時間・操作者をフクリックで押入可能なこと) 1468 57 連絡内容 (日付・時間・操作者をフクリックで押入可能なこと) 1470 59 相談内容区分 1471 60 本人の疾患区分 1471 60 本人の疾患区分 1472 61 相談内容 (日付・時間・操作者をフクリックで押入可能なこと) 1473 62 本所での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと 1474 63 連絡光原酵名 1475 64 連絡光原酵名 1475 65 埋動内容区分 1477 66 1486 1487 1479 68 1478 1479 68 1479 1480 69 1476 1481 70 1298 1482 71 1298 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 72 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 1483 73 73 73 73 73 73 73	1462		51	・本人の疾患区分		
1464 53 電話での相談については、援助内容について登録可能など、登録内容は下記について登録可能など 連絡先底呼名 ・連絡先底呼名 ・連絡光底呼名 ・ 連絡光底呼名 ・ ・	1463			・相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと)		
1465 54 ・連絡先度酵名 1466 55 ・連絡元解様 1467 56 ・援助内容区分 1468 57 ・連絡小容(目付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1469 58 来所での相談については、相談内容について登録可能なこと。登録小容は下記について登録可能なこと 1470 59 ・相談内容区分 1471 60 ・本人の疾患区分 1472 61 ・相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1473 62 ・連絡先底時名 1474 63 ・連絡光解検 1475 64 ・連絡光解検 1476 65 ・連絡内容区分 1477 66 ・連絡内容区分 1478 67 定総内容(日付・時間・操作者をワンクリッケで挿入可能なこと) 1479 68 ・所属 1480 69 ・冷機区分 1481 70 受診日 1482 71 ・受診目 1483 72 ・組設者				電話での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと		
1466 55 連絡先病棟				·連絡先医師名		
1467 56 ・援助内容区分 ・援助内容に分け、時間・操作者をフンクルタで挿入可能なこと 1469 58 米所での相談については、相談内容について登録可能なこと 登録内容は下記について登録可能なこと 1470 59 ・相談内容区分 1471 60 ・本人の疾患区分 1472 61 ・相談内容 (日付・時間・操作者をフンクルタで挿入可能なこと) 1473 62 米所での相談については、援助内容について登録可能なこと 1473 62 米所での相談については、援助内容について登録可能なこと 1474 63 ・連絡先廃棟 1475 64 ・連絡先廃棟 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容区分 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1480 69 ・待機区分 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者 1484 72 ・相談者 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485 1485				·連絡先病棟		
1468 57 ・連絡内容(日付・時間・操作者をウンクリックで挿入可能なこと)				•援助内容区分		
1469 58 来所での相談については、相談内容について登録可能なこと、登録内容は下記について登録可能なこと 1470 59 ・相談内容区分 1471 60 ・本人の疾患区分 1472 61 ・相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1473 62 来所での相談については、援助内容について登録可能なこと 1474 63 ・連絡先底除名 1475 64 ・連絡先底除 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・援助内容区分 1477 66 ・援助内容区分 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 ・一受診目 1480 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者 1483 72 ・相談者 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480 1480				・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと)		
1470 59				来所での相談については、相談内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと		
1471 60 ・本人の疾患区分 ・相談内容 (日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1473 62 来所での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと 1474 63 ・連絡先医師名 ・連絡先時棟 1475 64 ・連絡先時棟 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容 (日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・奇様区分 ・受診日 1481 70 ・受診目 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者 1484 1485 1486 1487 1488 72 ・相談者 1487 1488 72 ・相談者 1487 1488 72 ・相談者 1488 72 ・相談者 1488 72 ・相談者 1487 1488 1487 1488 72 ・相談者 1487 1488 1487 1488 1487 1488 1487 1488 1487 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 1488 148				·相談内容区分		
1472 61 ・相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1473 62 来所での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと 1474 63 ・連絡先医師名 1475 64 ・連絡先病棟 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者				・本人の疾患区分		
1473 62 来所での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと 1474 63 ・連絡先底師名 1475 64 ・連絡先病棟 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1477 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者 1484 1482 72 ・相談者 1483 72 ・相談者 1487 1488 1488 72 ・相談者 1487 1488 1488 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 1489 14				・相談内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと)		
1474 63 ・連絡先医師名 1475 64 ・連絡先病棟 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診目的 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者				来所での相談については、援助内容について登録可能なこと。登録内容は下記について登録可能なこと		
1475 64 ・連絡先病棟 1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者				·連絡先医師名		
1476 65 ・援助内容区分 1477 66 ・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者				·連絡先病棟		
1477 66 ・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと) 1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者				·援助内容区分		
1478 67 児童に関する相談については、以下について登録可能なこと 1479 68 ・所属 1480 69 ・待機区分 1481 70 ・受診日 1482 71 ・受診目的 1483 72 ・相談者				・連絡内容(日付・時間・操作者をワンクリックで挿入可能なこと)		
1479 68 · 所属 1480 69 · 待機区分 1481 70 · 受診日 1482 71 · 受診目的 1483 72 · 相談者				児童に関する相談については、以下について登録可能なこと		
1480 69 ·待機区分 1481 70 ·受診日 1482 71 ·受診目的 1483 72 ·相談者				-所属		
1481 70 ·受診日 1482 71 ·受診目的 1483 72 ·相談者				·待機区分		
1482 71 ·受診目的 1483 72 ·相談者				・受診日		
1483 72 ・相談者 . 22个雌明				·受診目的		
。 22个趣問				·相談者		
1404 /3	1484		73	·紹介機関		
1485 74 ・療育状況				-療育状況		
1486 75 ・制度の利用状況				・制度の利用状況		
1487 76 ・発達診断の希望有無 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 1487 76 148				・発達診断の希望有無		
1488 77 ·発達検査の有無				・発達検査の有無		

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1489		78	・主訴		
1490		79	・受診歴/診断名/通院状況		
1491		80	・特記事項(主訴、受診歴/診断名/通院状況、特記事項は日付・時間・操作者をワンクリック		
	39.Myチャート		で挿入可能なごと)		
1492		1	Myチャート画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
1493		2	別ウィンドウ表示した場合は、Myチャート画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
1494		3	Myチャートは、以下の内容について検索や時系列表示が可能なこと		
1495		4	・処方オーダー		
1496		5	・注射オーダー		
1497		6	•検査結果		
1498		7	・画像オーダー(放射線、生理、内視鏡)		
1499		8	- 測定値		
1500		9	・観察項目		
1501		10	・看護ケア		
1502		11	·看護処置		
1503		12	·IN/OUT		
1504		13	・バイタル		
1505		14	•入退院情報		
1506		15	表示する項目は、登録されているマスターから操作者が自由に選択可能なこと。表示している患者が実施している項目からも選択可能なこと		
1507		16	チャートは病院、診療科、職制、操作者、患者ごとに管理可能なこと		
1508		17	チャートはGUIにより作成が可能で、表示対象項目、表示順など自由な変更が可能なこと。表示対象項目の検索は、名称検索、患者のオーダー原歴から検索が可能なこと。		
1509		18	時系列の表示は14日間表示、7日間表示、1日(24時間)表示切替が可能なこと		
1510		19	チャートは情報分類(オーダー種)ごとに、色分けし見やすくなっていること		
1511		20	表示対象とするオーダーの進捗を、設定で変更可能なこと		
1512		21	カルテ起動時に自動で起動することが可能なこと		
1513	40.持参薬管理	1	持参薬画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
1514		2	別ウィンドウで表示した場合は、持参薬画面に患者情報を表示すること。複数患者起動を想定して、表		
1515		3	示内容はかいテ画面と同等の情報を表示すること 院内採用薬外の持参薬を含め、カルテ登録可能なこと		
1516		4	持参薬と、処方オーダー、注射オーダーのチェックが可能なこと		
1517		5	持参薬から処方オーダーへの流用が可能なこと。流用時に院内採用薬の同効薬剤候補から選択可能		
1517		6	なこと 持参薬の履歴管理が可能なこと		
1519		7	持参薬の薬歴は処方オーダー、注射オーダーと同一画面で確認可能なこと。また、処方オーダー、注射		
1520		8	オーダー、持参薬が一目でわかるよう色分け表示されること。 持参薬薬歴画面、カルテ画面、Dの領域より、院内採用薬に振り替えてDo登録が可能なこと		
1521		9	カルテ画面や薬歴照会、クリティカルパス画面などにて、他のオーダー情報と同時に照会が可能なこと		
1521		10	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
			他の端末で同一患者のカルテを開いている際に、双方で入力中の持参薬オーダーの内容がリアルタイム		
1523		11	で参照可能なこと 持参薬は、薬剤名称、識別記号、薬効分類から検索、登録が可能なこと		
1524		12	持参薬検索は一般名、商品名から検索可能なこと		
1525		13	持参薬検索は、キーワード検索が可能なこと		
1526		14	薬剤の検索結果を一覧表示し、選択可能なこと		
1527		15	薬剤の検索結果一覧では、院内採用薬剤と院内不採用薬剤が一目でわかるよう、色分け表示されるこ		
1528		16	RELIANTED AND SECOND MET INVIDENTAL SUITANTENIN, FOR MINIOR SUITANTENING FOR MINIOR SUITANTENING FOR SUI		

	1				
通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
<u> </u>	178710	110	758 FG (F + 1914)	70	*#H
1529		17	持参薬の履歴から、過去の持参薬をDo登録することが可能なこと		
1530		18	持参薬登録後のカルテツリー上では、院内採用薬と院外採用薬が一目で確認可能なよう、文字色の色分け表示が可能なこと		
1531		19	登録した持参薬日数/回数の変更、用法の変更、使用量の変更、コメントの修正は、編集画面を開かずともカルテ画面上で行えること		
1532		20	登録した持参薬の、院内採用薬での同効薬剤一覧を、カルテツリーから開けること		
1533		21	登録した持参薬に対して、医師による採用の継続/中止指示が可能なこと		
	41.レジメンオーダー	<u> </u>			
1534	基本機能	1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
1535		2	別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること		
1536		3	抗がん剤であることが、オーダー画面上で一目で把握可能なよう表示すること		
1537	レジメンマスター作成	1	レジメンオーダーのプロトコールの作成を行え、複数登録メンオーダーのプロトコールの作成を行え、複数登録可能なこと		
1538		2	まず」形はこと 作成したプロトコールを一覧表示可能なこと		
1539		3	プロトコールは診療科、疾患名別に登録、表示可能なこと		
1540		4	プロトコールには有効期間を設定でき、世代管理が可能なこと		
1541		5	プロトコールの作成、登録は、「作成中」、「未承認」、「承認済」と履歴管理が可能なこと		
		6	作成したプロトコールに対する承認機能を有し、院内で承認しない限り患者適用が行えないこと		
1542		-	プロトコールを作成可能な職員、および承認可能な職員を管理可能なこと		
1543		7	プロトコール一覧には以下の項目が表示可能なこと		
1544		8			
1545		9	· プロトコール名称		
1546		10	- 診療科		
1547		11	•疾患名		
1548		12	·承認区分		
1549		13	・承認者		
1550		14	·承認取消者		
1551		15	・更新者		
1552		16	あらかじめ登録されたプロトコールを流用し、新規プロトコールとして登録可能なこと		
1553		17	プロトコールには注射薬の入力が可能なこと		
1554		18	登録されたプロトコールの内容修正、削除が行えること		
		19	プロトコール作成では以下のパラメータを表示、登録可能なこと		
1555		-	・プロトコール名称		
1556		20	・投薬日数		
1557		21	・休薬期間		
1558		22	・最大クール数		
1559		23			
1560		24	- 体表面積計算式		
1561		25	・腎機能の値による実投与量の割合		
1562		26	・腎機能による警告表示		
1563		27	・肝機能による警告表示		
1564		28	・C B Cによる警告表示		
1565		29	・心機能の確認有無		
1566		30	体表面積については以下の計算式から選択可能なこと。計算式はプログラムの修正無しに追加、変更可 ^{飲わてよ}		
1567		31	能なこと ・DuBois式		
1568		32	・Mosteller式		
1300		J2			

海 No	機能	No	Hisket,⊒¥-6m	司本	理由
通しNo	7发月七	No	機能詳細	可否	任田
1569		33	· 新谷式		
1570		34			
1571		35	注射オーダーの指示内容としては、注射薬剤/手技、投与量、補正単位、開始時間、速度、投与日を 登録可能なこと。開始時間は、相対時間での指定も可能なこと		
1572		36	レジメンオーダーで使用する抗がん剤は注射オーダー機能では指定できないこと		
1573		37	プロトコール作成時、抗がん剤を先発医薬品で作成したプロトコールと、後発医薬品で作成したプロト コールを紐付けることが可能なこと		
1574		38	抗がん剤において、先発医薬品と後発医薬品の紐付けが可能であり、先発医薬品、後発医薬品を同 一薬剤として投与量を累計し、生涯投与量のチェックが可能なこと		
1575		39	プロトコール作成時、既に登録されているプロトコールグループの一覧を確認可能なこと		
1576		40	抗がん剤は薬価を管理可能なこと		
1577		41	規格調整量は、薬価により最も安価な組合せを自動的に展開することが可能なこと		
1578		42	プロトコールの内容を帳票に出力し記録として残せること		
1579		43	プロトコールに対するコメントと、参考文献の登録が可能なこと		
1580	化学療法登録	1	診療科、疾患名を指定し、プロトコールを患者へ適用可能なこと		
1581		2	患者ヘブロトコールを適用する際、今回の予定クール数を指定可能とし、該当プロトコールの適用上限の クール数を表示可能なこと		
1582		3	プロトコール適用時に以下のパラメータを表示、登録可能なこと		
1583		4	・身長		
1584		5	・体重		
1585		6	·BMI(表示項目)		
1586		7	・標準体重(表示項目)		
1587		8	· 体表面積(表示項目)		
1588		9	・換算体表面積(表示項目)		
1589		10	・投与量換算の体重指定(体重/標準体重)		
1590		11	・GFRの算出		
			・AUCの算出		
1591		12	体表面積の算出結果により、患者への投与量が大きくなる場合には、身長、標準体重から算出した体		
1592		13	表面積より患者への投与量を算出可能なこと プロトコール適用時に、患者基本情報(身長、体重)、検査結果値により、患者に適した抗が人剤の		
1593		14	接与量を算出可能なこと 身長、体重は患者基本情報で登録されている内容を既定表示すること。入力した身長、体重は患者基		
1594		15	本情報への反映が可能なこと		
1595		16	GFRについては以下の計算式の結果から最も近い値を選択可能なこと。また、この計算式は、プログラムの修正無しに、追加、変更可能なこと		
1596		17	・クレアチニンクレアランスの結果値からの体表面積補正		
1597		18	·CockCroft-Gault式		
1598		19	-MDRD式		
1599		20	·Jelliffe式		
1600		21	・日本腎臓学会(2008)		
1601		22	GFR算出で使用する検査結果値(Ccr、Scr)は、当該患者の検査結果値から取り込みが行えること		
1602		23	パラメータ決定時には、年齢制限、GFR結果値の上限で警告を表示可能なこと		
1603		24	GFRについては、医師が任意の投与量を入力可能な場合にはフリー入力が可能なこと		
1604		25	プロトコール適用時に腎機能検査の検査結果値(BUN、Scr)から警告表示の指定が可能なこと		
1605		26	プロトコール適用時に肝能検査の検査結果値(AST、ALT、T-Bil)から警告表示の指定が可能なこと		
1606		27	プロトコール適用時にCBC検査の検査結果値(白血球、リンパ球、好中球、血小板、ヘモグロビン)から発生まニのセクサイフはなった。		
1607		28	ら警告表示の指定が可能なこと 投与量のチェックが可能なこと		
1608		29	抗がん剤は、同一規格の総量で投与量のチェックが可能なこと		
1609		30	抗がん剤の投与割合の上限値、下限値が設定可能なこと。オーダー時に上限値、下限値のチェックが可		
1009		30	能なこと		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1610		31	抗がん剤と処方、注射薬剤の相互チェックが可能なこと		
1611		32	アレルギー等の患者禁忌チェックが可能なこと		
1612		33	プロトコール内の休薬期間、最大クール数のチェックが可能なこと		
1613		34	プロトコール適用時、心機能チェックが必要なプロトコールは、警告メッセージが表示されること		
1614		35	プロトコール間の休薬期間チェックが可能なこと		
1615		36	検査結果値からの警告表示に使用する結果値は、何日前までの結果値を有効にするかを指定可能な		
1616		37	こと 投与薬剤の投与量は、補正単位とパラメータによる計算で表示されること		
1617		38	投与薬剤の投与量は、直接入力、および割合にて変更可能なこと		
1618		39	全適用抗がん剤の割合を一括で変更可能なこと		
			使用量範囲ごとの規格薬剤パターンのマスター設定に従い、注射薬の規格最適化処理が行われること		
1619		40	プロトコール適用時には、抗がん剤の追加 ・変更は行えないこと		
1620		41	プロトコール適用時に、患者に合わせて手技、コメント、抗がん剤以外の薬剤の変更が行えること		
1621		42	適用開始日時の指定が可能なこと		
1622		43	適用開始日時を指定することにより、患者へ投与する実際の時間が自動で設定されること		
1623		44	オーダーの進捗ステータスは、未実施、注射箋発行済、最終確認済、混注済、一部実施、実施済が表		
1624		45	示可能なこと		
1625		46	患者に適用するプロトコールごとに担当医師を指定可能なこと		
1626		47	他院で投与実績のある抗がん剤の投与量を管理可能なこと		
1627		48	プロトコール適用時、および実施時に抗がん剤の生涯投与量の極量チェックが可能なこと。チェックには自 院だけではなく、他院での投与量も加味してチェック可能なこと		
1628		49	患者に適用したプロトコールの履歴を参照可能なこと。また、プロトコールごとの進行、終了状態が確認可能なこと (完遂、中止、一部中止、進行中、開始前)		
1629		50	同一グループのプロトコールを新規適用時、クール数は適用済みの同一グループ内の最新クール数を考慮可能なこと		
1630		51	プロトコールごとに抗がん剤の投与実績が参照可能なこと		
1631		52	抗がん剤の投与日が日を跨ぐ場合、オーダー画面上で一目で把握可能なよう表示すること		
1632		53	プロトコール適用時、実施時間の選択は、日付の選択も可能なこと		
1633		54	日を跨いで投与するRpは、カルテツリー上に実際の投与日が表示されること		
1634		55	次クール適用時、直近に測定された身長、体重を反映可能なこと		
1635		56	次クール適用時、前回クールの最終投与日の検査結果値の警告表示を流用可能なこと		
1636		57	次クール適用時、過去のクールの内容を参照し流用可能なこと。過去のクールと今回適用する内容を一 画面で比較しながら修正 ・適用が可能なこと		
1637		58	プロトコール流用時、過去に適用したプロトコールの、クールにおけるDayごとの抗がん剤投与実績を参照可能なこと		
1638		59	・プロ・フェール流用時、過去に適用したプロトコールと最新のプロトコールマスターをチェックし、相違があった場合シャセージを表示し、安易に流用できないこと		
1639		60	参与ウビースを扱いくを参加が下してないで プロトコール流用時、過去に適用したプロトコールの抗がん剤が、マスターから削除されていた場合、流用 時にメッセージを表示し、安易に流用できないこと		
1640		61	時にメッセーンを表示し、女易に流出してないこと プロトコール流用時、最新のプロトコールマスターと選択クールの世代番号のチェックがかかること		
1641		62	適用済みクールに中止Dayがある場合、その中止Dayより次クールを重複登録可能なこと		
1642		63	中止Dayより次クールを重複登録する際、クール番号を引継ぐか、次クール番号とするかは、設定により 変更可能なこと		
1643		64	全中止となったクールに、新規クールを重複登録可能なこと		
1644		65	レジメンオーダーを指示している患者の一覧表示が可能なこと。一覧画面は、以下の複合条件で絞り込		
1645		66	<u>みが可能なこと</u> ・投与日		
1646		67	・プロトコール名称		
1647		68	-診療科		
1648		69	·依賴医		
1649		70	・担当医		
1650		71	・疾患名		
1030		′ 1			

通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1651		72	• 入外区分		
1652		73	- 入院病棟		
1653		74	・実施進捗		
1654		75	レジメンオーダーの指示一覧画面から以下の操作が行えること		
1655		76	-注射箋発行		
1656		77	・注射ラベル発行		
1657		78	・投与実施指示(最終確認)		
1658		79	・オーダーの中止指示		
1659		80	・オーダーの未実施指示		
1660		81	・混注終了指示		
1661		82	レジメンオーダーの注射箋は注射オーダーとは別に一括で発行可能なこと		
1662		83	1クールの最終投与の実施指示を行った場合は、次クールの適用を行うかの督促が可能なこと		
1663		84	患者に適用しているプロトコールはカレンダー形式で表示可能なこと		
1664		85	レジメンカレンダーでは投与日と休薬期間が色を分けて表示可能なこと		
1665		86	レジメンカレンダーには日ごとに処方、注射、検体検査、画像オーダーの有無をアイコンにて表示し、アイコンはオーダーの進捗別に違うイメージで表示されること		
1666		87	レジメンカレンダーでは以下の操作が可能なこと		
1667		88	•担当医変更		
1668		89	・生涯投与量確認		
1669		90	・レジメンオーダーの履歴参照		
1670		91	・新規プロトコール適用(次クール適用)		
1671		92	・抗がん剤投与の一括修正/個別修正		
1672		93	・抗がん剤投与の一括中止/個別中止		
1673		94	・抗がん剤投与の一括移動/個別移動		
1674		95	・休薬期間移動		
1675		96	・投与実施指示(最終確認)		
1676		97	•投与実施入力		
1677		98	レジメン過去履歴 (開始日、プロトコール名称、診療科、疾患名、依頼医、クール数、状態 (完遂、一部中止、進行中) 等) が一覧で参照可能なこと		
1678		99	レジメンオーダーの実施入力および、医事会計連動が可能なこと		
1679		100	投薬時にバーコード等による認証、チェック機能を有すること		
1680		101	レジメンオーダーでのみ使用する注射薬は、注射オーダーではオーダーができないこと		
1681		102	プロトコール別に、患者の抗がん剤投与量に対し、マスター等の設定により適正な手配単位に分けてオーダーが可能なごと		
1682		103	フールーの形として、 薬剤事前準備の為、薬剤別払出累計(基準日から10日分)の帳票が出力可能なこと。出力は入院 /外来単位、病棟単位で可能なこと		
1683		104	/ アナネーは、物味中は、い能なこと オーダーツリーに表示する名前は、オーダー登録者か最終更新者を設定により変更可能なこと		
1684		105	オーダーを中止、削除、修正をした際、元のオーダーに取消し線が引かれること		
1685		106	カルテ画面を参照しながら、オーダーを入力可能とすること		
1686		107	他の端末で同一患者のカルテを同時に開いている際に、双方で入力中のレジメンオーダーの内容がJアル タイムで参照可能なこと		
1687		108	プロインを深られるとと 患者に適用した1クール分の情報が時系列形式で帳票出力可能なこと		
1688		109	外来患者に対する治療のために、化学療法室におけるペッド管理が可能なこと		
1689		110	プロトコールマスターにて時間入力された滴下速度は、患者適用時の投与量により自動で変更されること		
1690		111	患者適用時にAUC目標値の変更が可能なこと		
1691		112	他プロトコールとの重複チェックが可能なこと		

721.	100 415		100 A D T A A D		vm
通しNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1692		113	レジメンオーダー中止時に中止理由の入力が可能なこと		
1693		11/	指示医がレジメンオーダー登録後に指示医以外の医師及び薬剤師がオーダー内容確認したことを記録で		
1093	42.処置室照会	114	ಕಿತ್ತಾರಿ		
1694		1	外来患者または入院患者へのオーダ内容(処方、注射、汎用、輪血、病理、放射線、生理、内視鏡、 リハビリ)および進捗状況が確認可能なこと		
1695		2	思者を指定しカルテを起動可能なこと		
1696		3	患者を指定し、オーダ内容の確認が可能なこと		
			患者のオーダを指定し実施入力が可能なこと		
1697	42 /41/67/	4	The state of the s		
1698	43.他科紹介	1	オーダー画面は操作者が任意にカルテ画面から切り離して別ウィンドウで表示可能なこと		
			 別ウィンドウ表示した場合は、オーダー画面に患者情報を表示すること。 複数患者起動を想定して、表示		
1699		2	内容はカルテ画面と同等の情報を表示すること 他科への紹介状を作成可能なこと (紹介元、紹介先、診察場所、診察日時、診察予約、紹介目的、		
1700		3	紹介内容)		
1701		4	紹介状を印刷可能なこと		
1702		5	紹介内容の定型文管理が可能なこと		
1703		6	紹介状内容はカルテに記載されること。		
1704		7	診察予約を取得した場合、外来患者一覧に紹介患者マーケが表示されること		
1705		8	紹介内容は紹介先へ通知されること		
			他科紹介患者一覧にて他科からの紹介情報が確認可能なこと。また、未読、既読を確認可能なこと		
1706		9	他科からの紹介に対し返書の作成が可能なこと		
1707		10			
1708		11	返書内容の定型文管理が可能なこと		
1709		12	返書の編集画面は、クリック数削減を目的にカルテ画面からダイレクトに起動可能なこと		
1710		13	返書を印刷可能なこと		
1711		14	返書はカルテに記載されること		
1712		15	他科紹介患者一覧にて他科へ紹介した患者の情報が確認可能なこと。また、返書の有無を確認可能		
1713		16	なこと 日付未定の他科紹介が可能であること		
1/13	44.チーム医療	10			
1714	11.7 Zigan	1	一人の患者に複数の医療専門職が連携し治療やケアを行うために、介入から介入終了時までの		
1715		2	情報管理を行えるチーム医療の機能を有すること チーム介入依頼について、新規依頼、修正、削除が可能であること		
			介入依頼は、チーム毎に依頼内容のテンプレートを設定できること。テンプレートの内容は、病院独自の		
1716		3	内容を作成できること チームはマスター管理されており、運用後にチームの追加が可能であること		
1717		4			
1718		5	チーム介入依頼に対し、受付/却下ができること。また、受付取り消しも可能であること		
1719		6	チーム介入依頼を却下する場合は、却下理由が入力できること		
1720		7	受付したチーム介入に対し、回診予約が可能であること。また、予約キャンセルも可能であること		
1721		8	受付したチーム介入に対し、回診記録が登録できること。また、回診記録の修正、削除が可能であること		
1722		9	介入依頼登録の際、依頼を行うチームに対して、既に依頼が登録されているのか重複チェックを行うこと。		
1723		10	既に依頼が登録されている場合は、メッセージを表示し操作者へ注意を促すこと 回診記録において、テンプレート機能により1チームに対して複数の回診記録内容を設定できること		
			回診記録の下書き登録が可能であること		
1724		11			
1725		12	回診記録において、回診予約が無い場合も回診記録を登録できること		
1726		13	回診記録を作成する際、前回回診記録を流用して記録が作成できること		
1727		14	回診時に加算が発生する場合、加算項目一覧から加算項目を選択登録することで医事システムへ加 算情報を伝達できること		
1728		15	加算項目は、チーム毎にマスターで管理が可能なこと		
1729		16	加算項目は、複数項目を一度に登録できること。登録と同時に汎用オーダーを生成し、コストの取り漏れ		
			の防止が可能なこと 回診記録/加算一覧で介入依頼に対する回診記録の記載状況および加算登録状況を確認できるこ		
1730		17	٤		

通UNo	機能	No	機能詳細	可否	理由
1731		18	回診記録/加算一覧から回診記録内容および加算登録内容を参照できること		
1732		19	チーム介入が終了する場合、介入終了登録が可能であること。		
1733		20	介入終了の際、チーム毎に介入終了内容を登録できること。登録内容はテンプレートを活用することで登録の負荷を軽減できること		
1734		21	チーム医療一覧にてチーム介入の状況(依頼、介入中、却下、終了)が確認できること		
1735		22	チーム医療一覧から受付/却下、受付取消、介入終了、回診予約、回診記録・加算登録の操作が可能であること		
1736		23	チーム医療一覧からチーム介入依頼の内容を参照できること		
1737		24	チーム医療一覧からカルテ、検査結果照会、経過一覧表が起動できること		
1738		25	チーム医療一覧の表示内容を印刷できること		
1739		26	チーム介入依頼、回診記録、介入終了の記載内容はカルテに記載されること		
1740		27	入院患者一覧画面、外来患者一覧画面にて介入中の全てのチームが表示されること。		
1741		28	病床一覧画面にてチームを選択すると介入中の患者が強調表示されること		
1742		29	カルテを開いた時、チーム介入中を示すアイコンを、患者パネルに表示できること		
1743		30	チーム医療一覧の情報は帳票印刷ができること		
1744		31	データベースを共有している他施設のチーム介入状況を確認可能なこと。画面上から他施設を含めた表示と自施設のみの表示を切り替えることが可能なこと		